

# CSR報告書 2020

## KISSEI CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT 2020



## 目 次

|                      |    |
|----------------------|----|
| ごあいさつ                | 1  |
| 会社プロフィール             | 2  |
| 業務紹介                 |    |
| 創薬研究、非臨床研究、製剤研究、臨床試験 | 4  |
| 調達・生産、信頼性保証          | 7  |
| 医薬情報活動               | 8  |
| ヘルスケア事業              | 9  |
| コーポレート・ガバナンスについて     |    |
| コーポレート・ガバナンス         | 10 |
| 内部統制基本方針             | 12 |
| キッセイグループ行動憲章         | 13 |
| キッセイ薬品行動憲章           | 14 |
| コンプライアンスへの取り組み       | 15 |
| 社会性活動について            |    |
| 患者さんとの関わり            | 18 |
| 社会との関わり              | 20 |
| 社員との関わり              | 28 |
| 環境保全活動について           |    |
| [全社の環境保全活動]          |    |
| キッセイ薬品環境基本方針         | 35 |
| 環境マネジメントシステム         | 36 |
| キッセイ薬品と環境との関わり       | 39 |
| 環境保全活動の実績            | 40 |
| 環境会計                 | 44 |
| [事業所の環境保全活動]         |    |
| 本社・松本工場              | 45 |
| 塩尻工場                 | 46 |
| ヘルスケア事業センター          | 47 |
| 中央研究所・製剤研究所          | 48 |
| 第二研究所                | 49 |
| 上越化学研究所              | 50 |
| 東京本社、支店・営業所          | 51 |
| [グループ会社の環境保全活動]      |    |
| キッセイ商事株式会社           | 52 |
| キッセイコムテック株式会社        | 53 |
| ハシバテクノス株式会社          | 54 |
| 編集後記                 | 55 |

本報告書は、環境省「環境報告書ガイドライン(2012年度版)」を参考にし、2019年度における社会的な取り組み並びに環境への取り組みをまとめています。

### CSR報告書の対象範囲

- ・対象年度：2019年度(2019.4～2020.3)を主な対象としていますが、一部2020年度を含みます。
- ・対象事業所：環境パフォーマンスデータは、キッセイ薬品の国内事業所、ハシバテクノス株式会社の該当データをまとめています。



代表取締役会長 兼 最高経営責任者(CEO)

神津 陸雄

7月の活発な梅雨前線による豪雨や洪水被害、世界各地で慢性的になりつつある「記録的」といわれる酷暑など、背景には長期的な地球温暖化に伴う気候変動の影響が確実に増しています。それに加えて今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、企業によるESGへの取り組みの重要性を一層明確にしたと考えられます。地球温暖化対策としての二酸化炭素排出量や廃棄物削減などのE(環境)についてはこれまでも取り組んできましたが、このコロナ禍においては、とくにS(社会)におけるステークホルダーの一つである社員や家族の安全や健康を確保することの重要性をあらためて確認する機会となりました。

本年4月からスタートしました新中期5ヵ年経営計画「PEGASUS」において基本方針の一つに経営環境の変化に対応する経営基盤の強化を掲げ、ESG/SDGsの推進、ガバナンス体制の更なる強化に取り組めます。「純良医薬品を通じて社会に貢献する」「会社構成員を通じて社会に奉仕する」という経営理念の実現にむけて、当社は希少疾病治療薬をはじめとする新薬の研究開発を一層強化するとともに、病態食や高齢者用食の開発を進め、人びとの健康に貢献してまいります。それとともに、エネルギー使用量の削減や廃棄物削減などの地球環境保全や働きがいのある職場環境の実現など環境・社会・経済の各側面のSDGs達成に向けた活動やESGへの取り組みなど企業の社会的責任を果たし、ステークホルダーの皆様や社会から信頼される企業を目指してまいります。

2020年9月

# 会社プロフィール

## 会社概要 (2020年3月31日現在)

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社 名       | キッセイ薬品工業株式会社                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 英 文 社 名   | KISSEI PHARMACEUTICAL CO.,LTD.                                                                                                                                                                                                                                    |
| 設 立       | 昭和21年8月9日                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 資 本 金     | 24,356百万円(東京証券取引所市場第一部上場)                                                                                                                                                                                                                                         |
| 主要な事業内容   | 医療用医薬品の研究・開発・製造・販売<br>治療用特殊食品の開発・販売                                                                                                                                                                                                                               |
| 事 業 所     | 本 社<br>〒399-8710 長野県松本市芳野19番48号 電話(0263)25-9081<br>東京本社<br>〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号 電話(03)3279-2761<br>東京本社(小石川)<br>〒112-0002 東京都文京区小石川3丁目1番3号 電話(03)5684-3530<br>支 店<br>北海道支店、東北支店、関越支店、東京支店、神奈川支店、松本支店<br>東海北陸支店、関西支店、中四国支店、九州支店<br>(注)支店の下に50営業所を設置しております。 |
| 工 場       | 松本工場、塩尻工場                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 研 究 所     | 中央研究所・製剤研究所、第二研究所、上越化学研究所<br>ヘルスケア事業センター                                                                                                                                                                                                                          |
| 従 業 員 数   | 1,479名                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 連結国内子会社   | キッセイ商事株式会社、キッセイコムテック株式会社、ハシバテクノス株式会社                                                                                                                                                                                                                              |
| 海 外 子 会 社 | KISSEI AMERICA, INC.                                                                                                                                                                                                                                              |





## キッセイ薬品の主な歩み

1946(昭和21)年

8月 株式会社橘生化学(タチバナセイカガク)研究所創設

1947(昭和22)年

5月 橘生薬品工業(キッセイヤクヒンコウギョウ)株式会社と改称

1961(昭和36)年

12月 消化管内ガス駆除剤「ガスコン」発売

1964(昭和39)年

10月 キッセイ薬品工業株式会社と改称

10月 本社及び工場を現在地に建設移転

1969(昭和44)年

5月 中央研究所建設(松本市)

1980(昭和55)年

7月 製剤工場建設

1982(昭和57)年

8月 アレルギー性疾患治療薬「リザベン」発売

1985(昭和60)年

6月 第二研究所建設(安曇野市)

1986(昭和61)年

8月 切迫流・早産治療薬「ウテメリン」発売

1988(昭和63)年

4月 脳循環改善薬「キサソボン」発売

12月 東京証券取引所市場第二部上場

1990(平成2)年

4月 食品事業室開設

11月 中央研究所竣工(安曇野市)・移転

1991(平成3)年

4月 高脂血症治療薬「ベザトール」発売

9月 東京証券取引所市場第一部上場

1992(平成4)年

6月 気管支喘息治療薬「ドメナン」発売

1994(平成6)年

10月 塩尻工場竣工

1995(平成7)年

7月 東京本社開設

12月 アレルギー性結膜炎治療薬「リザベン点眼液」発売

1996(平成8)年

9月 製剤研究所竣工

1997(平成9)年

3月 東京本社(小石川)開設

1999(平成11)年

7月 キッセイ薬品行動憲章制定

12月 環境基本方針制定

2000(平成12)年

9月 本社、松本工場、塩尻工場、塩尻物流センター、ヘルスケア事業センターにてISO14001認証取得

2001(平成13)年

5月 ヘルスケア事業センター竣工

2003(平成15)年

9月 薬物動態研究所にてISO14001認証取得

2004(平成16)年

5月 糖尿病治療薬「グルファスト」発売

2005(平成17)年

3月 たんぱく質調整食品「ゆめシリーズ」、エネルギー補給食品「マクトンシリーズ」発売

9月 口腔乾燥症状改善薬「サラジェン」発売

2006(平成18)年

5月 前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ」発売

9月 東京本社、東京本社(小石川)、第二研究所にてISO14001認証取得

2007(平成19)年

4月 上越化学研究所竣工

9月 中央研究所(製剤研究所含む)にてISO14001認証取得

2008(平成20)年

12月 とろみ調整食品「新スルーキングi」発売

2009(平成21)年

4月 前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「シロドシン」(日本製品名:ユリーフ) 米国にて発売

2010(平成22)年

5月 腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」発売

2011(平成23)年

3月 たんぱく調整減塩しょうゆ「減塩げんたしょうゆ」発売

7月 糖尿病治療薬「グルベス配合錠」発売

2014(平成26)年

4月 アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出治療薬「サビーン点滴静注用」発売

2015(平成27)年

11月 高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」発売

2016(平成28)年

1月 前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフOD錠」(口腔内崩壊錠)剤形追加

6月 糖尿病治療薬「グルファストOD錠」(口腔内崩壊錠)剤形追加

2017(平成29)年

12月 潰瘍性大腸炎治療薬「レクタブル2mg注腸フォーム」発売

2018(平成30)年

11月 過活動膀胱治療薬「ベオーバ」発売

11月 高リン血症治療薬「ピートル顆粒分包」剤形追加

2019(令和1)年

6月 糖尿病治療薬「グルベスOD錠」剤形追加

11月 腎性貧血治療薬「ダルベポエチンアルファBS注JCR」発売

2020(令和2)年

4月 糖尿病治療薬「マリゼブ」販売開始

4月 デスモプレシン製剤「ミニリンメルト」、他販売開始

# 業務紹介

キッセイ薬品は1946年の創立以来、「研究開発なくして製薬企業にあらず」の信念を持ち、独自の新薬開発に力を注いでいます。

創薬から育薬までは長い年月を要するだけでなく、様々な部署の協力・連携が必要です。研究開発・製造・販売の全プロセスで「患者さんのために」という想いを共有し、業務を推進しています。

## 創薬研究（創薬研究部門）

### 知恵を結集し、新薬に挑戦

北アルプスの麓 安曇野の地で創薬研究を推進しています。

新薬の発売に至るには、登山のように長く険しい道のりを上り詰める必要があります。だからこそ、知識と技術を結集し、研究者同士の連携を大切にしています。

新薬の開発に必要とされる期間は9～16年、成功率はおおよそ25,000分の1といわれ、長い年月と巨額の投資を必要とします。

当社は、新薬の研究開発に経営資源を重点的に投下しており、長野県安曇野市に中央研究所、第二研究所、製剤研究所を、新潟県上越市に上越化学研究所を置き、売上高の約20%を研究開発費としています。一方、研究開発の効率化を図るため、泌尿器、腎・透析など当社が強みとする領域を研究開発領域と定め、国内外の製薬企業との提携による技術導入・導出も積極的に行っています。

創薬研究部門の中には新規創薬技術の調査導入、候補化合物の合成、化合物の評価、合成ルートの検討など様々な業務・専門があります。まだ十分な治療薬がない疾患に、患者さんが必要としている薬剤を提供したいという同じ想いを持つ研究者同士が、専門は違っても日常的に意見交換を行い、連携を密に取ることで、困難な創薬研究に挑戦しています。

## 非臨床研究（開発研究部門）

### 精度の高い実験を通して実験技術と知識を培う

開発研究部門では、動物や培養細胞を用いて、候補物質の有効性と安全性に関する様々な検討を行い、承認申請に必要な資料を作成します。開発研究部門は薬理(期待する効果があるか、どのようなメカニズムで効果を現わすのか)や薬物動態(どのように体内に吸収され、分布・代謝・排泄されるか)、安全性(生体にとって安全か)などの部署に分かれていますが、お互いに情報共有やミーティングを行いながら業務を進めています。

## 製剤研究（製剤研究部門）

### 高品質の製剤を、より早く

製剤研究部門は製剤の設計、分析試験法の開発、臨床試験のための治験薬の供給、実生産のための製造部門への技術移転等を担っています。また、新剤形の研究も重要な業務の一つです。

幅広い業務を行う上で、医療からのニーズや最新の医療行政、各種規制の動向を的確に捉えながら、患者さんのQOL(生活の質)や利便性向上に貢献する付加価値の高い、高品質の製剤を早期に提供することを目指しています。

2019年には糖尿病治療薬「グルベス<sup>®</sup>配合錠」の新しい剤形となる「グルベス<sup>®</sup>配合OD錠」を新発売しました。本剤は、口腔内で速やかに崩壊し、水なしでも服用できることから、錠剤の服用が困難な患者さんへ新たな治療選択肢を提供できるものと考えております。

## 臨床試験（臨床開発部門）

### 新たな治療の選択肢を、最適な形で

臨床開発部門の役割は、新薬を世に出す＝承認申請に必要なデータを作成するため、ヒトを対象とした有効性や安全性の試験(治験)を行うことです。治験は倫理性、論理性、科学性を重視し、厚生労働省が定めた基準(GCP)に従って行われ、治験を行う医師からの十分な説明と、患者さんご本人の理解と同意の上で実施されます。

臨床開発部門は、新薬を最適な形で、一日でも早く世に出すことを目指し、全国の治験施設(治験を実施する医療機関)を訪問して臨床試験の依頼・管理を行うモニターをはじめ、開発戦略の立案や規制当局との折衝、臨床試験の品質確認や試験データの解析を行っています。

## 新薬の開発状況（2020年8月現在）

| 開発段階 | 開発番号<br>(一般名)          | 開発区分                                                    | 予定適応症                    | 主な作用等                      | 備 考                   |
|------|------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------|
| 第Ⅲ相  | KPS-0373<br>(ロバチレリン)   | 導入品／<br>塩野義製薬                                           | 脊髄小脳変性症                  | 甲状腺刺激ホルモン<br>放出ホルモン(TRH)作用 | 第Ⅲ相臨床試験終了<br>PMDAと協議中 |
|      | AJM300<br>(カロテグラストメチル) | 導入品／<br>EAファーマ<br>共同開発                                  | 潰瘍性大腸炎                   | $\alpha$ 4インテグリン阻害作用       |                       |
|      | CCX168<br>(アパコパン)      | 導入品／<br>ビフォー・フレゼニウス・<br>メディカル・ケア・<br>リーナル・ファーマ<br>(スイス) | 顕微鏡的多発血管炎、<br>多発血管炎性肉芽腫症 | 補体C5a受容体阻害作用               | 第Ⅲ相臨床試験終了             |
|      | R788<br>(ホスタマチニブ)      | 導入品／<br>ライジェルファーマ<br>シューティカルズ(アメリカ)                     | 慢性特発性血小板減少性<br>紫斑病       | チロシンキナーゼ阻害作用               |                       |
| 第Ⅱ相  | KLH-2109<br>(リンザゴリクス)  | 創製品                                                     | 子宮内膜症                    | GnRHアンタゴニスト                |                       |
|      | MR13A9<br>(ジフェリケファリン)  | 導入品／<br>丸石製薬<br>共同開発                                    | 透析患者におけるそう痒症             | $\kappa$ オピオイド受容体刺激作用      |                       |
|      | KDT-3594               | 創製品                                                     | パーキンソン病                  | ドパミン受容体刺激作用                |                       |

## 膀胱がん用剤「CG0070(開発番号)」のライセンス契約締結

当社は、CGオンコロジー社(米国、以下CG社)が膀胱がん等を対象に開発中の腫瘍溶解性ウイルス療法「CG0070(開発番号)」について、中国を除く、日本、韓国、台湾等アジア20ヵ国における独占の開発・販売権をCG社から取得するライセンス契約を締結しました。

当社は、泌尿器、腎・透析領域ならびにアンメットメディカルニーズが高い領域における製品ポートフォリオの拡充に取り組んでいます。今回の契約締結により、泌尿器疾患治療に対する取り組みを一層強化するとともに、本剤を膀胱がん等に苦しむ患者さんに早期に提供することを目指します。

## &lt;ご参考&gt;

## 膀胱がんについて

国内の膀胱がんの年間推定罹患数は2万人を超え、約75%が男性で、男女ともに60代から病気にかかる割合が高くなります。膀胱がんは、膀胱の内側の尿路上皮(移行上皮)粘膜より発生する悪性腫瘍です。筋層非浸潤性膀胱がん(NMIBC)と筋層浸潤

性膀胱がん(MIBC)の2つに大別され、NMIBCの中でも特に上皮がんでは、標準治療として、まずBacillus Calmette-Guerin (BCG)導入療法が行われますが、BCG導入療法にて持続または再発した場合には根治的膀胱摘除の適応となることが多いのが現状です。患者さんのQOL(生活の質:Quality of life)維持のためにも膀胱の温存が望まれており、新たな治療法として、ウイルス療法の研究、開発が進められています。

## CG0070について

CG0070は、網膜芽細胞腫(Rb)経路が欠損した腫瘍に対する選択的プロモーター及びGM-CSF遺伝子を搭載したヒトアデノウイルス5型を基本骨格とした腫瘍溶解性ウイルス療法です。CG0070は、2つの補完的な方法で効果を発揮するように設計されています。第一に、Rb経路が欠損したがん細胞内で複製され、がん細胞を破壊します。次に、破壊されたがん細胞からがん抗原が放出され、GM-CSFとともに、体内の白血球によるがん免疫反応を刺激します。

これまでの臨床試験では、BCG導入療法後に持続または再発した高リスクNMIBC患者において、有効性、安全性が示されています。また、多様な固形がんにおいて、単独、あるいは免疫チェックポイント阻害剤とCG0070の併用療法での開発が期待されています。

(詳しくは当社ホームページをご確認ください。 <https://www.kissei.co.jp>)

## 腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファ BS注「JCR」新発売

当社は、腎性貧血治療薬 ダルベポエチン アルファ BS注「JCR」（以下「本剤」）を2019年11月に新発売しました。

本剤は、当社とJCRファーマ株式会社（以下JCR）が共同で開発した、持続型赤血球造血刺激因子製剤であるダルベポエチン アルファ（一般名）のバイオ後続品です。JCRが国内で製造し、当社が販売及び医療機関への医薬情報提供活動を行います。

先行バイオ医薬品との品質、有効性における同等性／同質性が検証され、また、安全性プロファイルの類似性も確認されたことから、2019年9月にJCRが製造販売承認を取得し、2019年11月に薬価収載されました。

当社は、2010年5月より販売しておりますエポエチンアルファ BS注「JCR」で培った経験を活かし、本剤を腎性貧血の治療における新たな選択肢として提供することで、腎性貧血治療に一層貢献できるものと考えております。



ダルベポエチン アルファ BS注「JCR」製品写真

## 2型糖尿病治療薬「マリゼブ®」の販売移管

MSD株式会社（以下MSD）と当社は、この度、MSDが製造販売している2型糖尿病治療薬「マリゼブ®錠 25mg/12.5mg（一般名：オマリグリプチン、以下「マリゼブ®」）」について、2020年4月より当社に販売移管することを決定しました。

「マリゼブ®」の製造販売承認についてはMSDが引き続き保有しますが、将来的には、当社が承継することで合意しており、両社でその準備を進めてまいります。

「マリゼブ®」は、週1回投与の持続性選択的DPP-4阻害薬として2015年11月に世界に先駆けて日本で発売を開始し、多くの2型糖尿病患者さんにご使用いただいています。MSDと当社は、「マリゼブ®」が引き続

き患者さんと医療従事者のニーズに応えていけるよう取り組んでまいります。



マリゼブ®錠25mg/12.5mg 製品写真

## 「ミニリンメルト®」及び「デスモプレシン製剤」国内販売権移管

フェリング・ファーマ株式会社（以下フェリング）と当社は、この度、フェリングが創製したデスモプレシン酢酸塩水和物を有効成分とする「ミニリンメルト®」及び「デスモプレシン製剤」の国内における販売権をフェリングが当社に許諾することを決定しました。

両社は、2019年6月にフェリングが国内で初めて「男性における夜間多尿による夜間頻尿」の適応症で製造販売承認を取得した「ミニリンメルト®OD錠 25μg、同OD錠50μg」について、コ・プロモーション契約を締結し、共同で医療機関等への医薬情報提供活動を行ってきました。

今回の決定により、「ミニリンメルト®OD錠25μg、同OD錠50μg」については2020年4月1日から、その他製品については同年4月27日から、当社が販売・流通を担当し、フェリングは当社と共同で医薬情報提供活動を行います。

フェリングと当社は、両社の重点領域における提携を通じ、患者さんのQOL（生活の質：Quality of life）の向上に貢献できるよう努めてまいります。



ミニリンメルト®OD錠25μg / 同OD錠50μg 製品写真



## 調達・生産（生産部門）

### 生産体制

当社は、医薬品の自社工場を長野県松本市と塩尻市の2拠点に有しております。自社工場では原料の受け入れから製品の出荷に至るまでの製造工程全般を担い、また一部製品については外部委託することで、当社医薬品の安定供給に努めています。

松本工場は、主に製剤化を行う製剤工場であり、ユリーフ、ピートルなどの重点戦略品目を始めとする当社医薬品の高品質な製剤の製造を行っています。また、研究部門と連携し新たな製剤技術の取り込みも積極的に進めており、患者さん目線に合わせたより服用しやすい製剤となるよう剤型追加を行っています。

塩尻工場は、松本工場等で製剤化された当社医薬品の包装工場です。当工場でのパッケージングされた製品は、厳重な検査の後、国内の物流拠点へ出荷されます。



松本工場



塩尻工場

### 安定供給体制

医薬品は生命関連製品であるため、安定供給体制の維持管理が重要であり、当社では、主成分を始めとした原材料の調達から医薬品の製造、製品の在庫保管、配送までの一連のサプライチェーンマネジメント体制を整備しています。原材料の調達では、メーカーの統廃合及び不採算に伴う製造中止など不安定要素を踏まえて、複数メーカーからの購買やリスクに応じた在庫確保等の対策を図り、安定的に調達できるよう努めています。

また、事業継続計画(Business Continuity Plan:BCP)を定めて、万一、大規模地震や自然災害等が発生した場合においても、工場の再稼働期間を踏ま

えた製品在庫の確保とともに、緊急・重要性の高い医薬品の製品在庫量を増やすなど製品の特性に応じた適正在庫を持ち、国内の複数の拠点へ在庫保管場所を分散させることで、医薬品の供給が途絶えることがないように体制を整えています。これらの対応を継続して実施するために安定供給マニュアルを作成・手順化しており、定期的な自己点検により適宜供給体制の見直しを行っています。新型コロナウイルス感染症に対しても、工場の安定操業及び製品供給業務を継続できる体制を整えています。

また、医薬品の保管及び輸送時の品質確保にも注力し、医薬品が安全に患者さんのお手元に届くように努めています。さらに偽造医薬品対策としてトレーサビリティの確保などで偽造医薬品の流入防止を図るとともに、医薬品包装に工夫を行い偽造防止対策も進めています。

## 信頼性保証（信頼性保証部門）

### 品質保証体制

経営理念のひとつである「純良医薬品を通じて社会に貢献する」の下、高品質な医薬品を安定して患者さんへ提供するために、医薬品の製造管理及び品質管理の基準(Good Manufacturing Practice :GMP)に基づく厳格な製造管理、品質管理体制を敷いた工場当社医薬品を製造しています。

各工場への定期的な品質監査を通じて適切なGMP管理状態を維持するとともに、製造した医薬品は品質・有効性・安全性を総合的に判断したうえで出荷しています。

また、製品ライフサイクルにおける医薬品の品質及び安定供給に関する継続的な改善を目的として、「キッセイ医薬品品質システム」(Kissei Pharmaceutical Quality System :KPQS)を運用しています。品質基本方針を定めるとともに、工場における変更管理・逸脱管理及びその後の是正措置・予防措置の適切な実施、ならびに市場における医薬品の品質情報に係る手順等を定め、品質の改善を図っているほか、変更管理においては薬事規制に従い適切に判断する体制としています。また、製造された医薬品の品質は適切なモニタリングにより確認しています。これらの活動状況は、定期的に経営陣によるレビューを受け、継続的な品質の改善に努めています。

万が一、製品の安全性や有効性、品質に問題が発生した際には、製品回収を行うなど速やかな措置を行う手順、ならびに体制を整備しています。

### 品質基本方針における基本理念

キッセイ薬品は高い倫理観を持って構築した医薬品品質システムを積極的に運用し、継続的に改善した純良医薬品を提供することで、世界の人々の健康に貢献いたします。

### 安全性情報管理体制

医薬品の承認・発売までに得られる安全性情報は、限られた条件下で実施される臨床試験から収集されるものであり、発売以降、多くの患者さんに医薬品を適切にご使用いただくためには、引き続き安全性と有効性に関する情報を収集し、確認していく必要があります。

当社では、東京本社と松本本社に安全管理統括部門を設置し、支店を始めとする安全管理実施部門と連携しながら安全監視活動を推進しております。医薬情報担当者(MR)の情報収集活動や製造販売後調査などを通じて、当社製品の安全性や有効性に関する情報を広

く収集し、顧問医師を交えて慎重に検討しています。規制当局への副作用等報告などの薬事規制には適切に対応するとともに、新たな安全対策や適正使用に関する情報提供が必要と判断した場合は、速やかに医療関係者や患者さんに周知しています。情報提供活動にあたっては、独自に開発した「安全性情報提供システム」をMRのモバイルPCに搭載しており、医療現場においてオン・デマンドで即時に情報を提供することが可能です。

また、海外でも販売されている医薬品については、国内のみならず世界各地の患者さんに安全に使用していただけるよう、海外の提携先と契約を締結し、安全性情報を共有するなど国際的な安全監視活動を行っています。

### 医薬情報活動（営業部門）

#### 幅広い患者さんに、適正使用を

医薬情報担当者(MR)は医療機関を訪問し、自社製品の適正使用のため、有効性・安全性等の情報を医療関係者に提供します。また、実際に患者さんに処方された医薬品の有効性や安全性情報を収集し、安全管理部門で評価・分析された結果を医療関係者に情報伝達しています。このような活動を通して、自社製品の適正使用が進み多くの患者さんの役に立つことを目指します。

## 医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインへの対応

「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」は医薬品製造販売業者等が医療用医薬品の販売情報提供活動において行う広告又は広告に類する行為を適正化することにより、医療用医薬品の適正使用を確保し、もって保健衛生の向上を図ることを目的に2018年9月25日に厚生労働省から発出され、2019年4月1日から適用されております。

当社では信頼性保証本部信頼性調査部内に監督部門を設置し、販売情報提供活動のモニタリングや学術宣伝資材の審査を行うとともに、営業部門では販売情報提供活動に関する標準手順書を作成し、ガイドラインを遵守した販売情報提供活動を行っております。

## ヘルスケア事業

ヘルスケア事業部では、“食”を通じて社会に貢献したいという想いから、ご高齢者の方やCKD<sup>※</sup>等の腎疾患患者の方などに役立つさまざまな食品を開発・販売しています。

食事療法に求められるのは、栄養のバランス、食べやすさ、おいしさです。病気による食事制限や摂食・嚥下障害などが原因で今までの食事の質を見直された方や、食事の量が思うように摂れなくなった方が安心して、おいしく召し上がれるよう、味、簡便性、保存性などに配慮しています。

商品は主食からデザートまでバリエーション豊かにラインアップを揃えております。ご家庭でもお使いいただけるよう、通販カタログ「おいしい365日2020」で役立つ情報、製品の紹介や24時間受付の自社通信販売も展開しています。

※CKD：慢性腎臓病(腎臓の正常な機能が低下した状態)

通信販売URL <https://healthcare.kissei.co.jp/>

### 商品に関するお問い合わせ・電話での注文

《平日9時～17時まで受付》

《24時間受付》

tel: **0120-588-117**

fax: **0120-815-804**



ヘルスケア製品一覧

## 栄養補助食品えねばくゼリー新味追加発売

ヘルスケア事業部では、2020年2月27日にエネルギーとたんぱく質が補給できる「えねばくゼリー」に「グレープ、オレンジ、メロン」の3味を追加新発売しました。また、既製品の「白ぶどう、トロピカルフルーツ、りんご」に上記3味を加えた「6種詰合せ」も新発売しました。

えねばくゼリーは1個当たりエネルギー125kcal、たんぱく質5gを補給でき、十分な量の食事が摂れない方や、術後の方など低栄養対策に幅広く使用できる製品です。果汁を使い、フルーツフレーバーでさっぱりとしており、口当たりがよいので、緩和ケアにもおすすめです。一般的なゼリーは離水が多く、すべりの良い食感で、嚥下機能が低下した方には誤嚥や窒息のリスクがあります。嚥下反射が遅い方、舌の動きが鈍い方には、ゆっくりと流れてまとまりやすい食事が求められます。えねばくゼリーは、開封した時に見られる表面離水や、ゼリーを押しつぶした時に出る内部離水にも配慮しており、適度なまとまりと変形性があるので、嚥下機能が低下した方、誤嚥や窒息のリスクがある方も安心して召し上がれる製品を目指し、嚥下リハビリに携わっておられる医師に物性のアドバイスを頂きながら製品化しました。

ゆめごはんなどの腎臓病食事療法関連食品、とろみ調整食品に次いで、栄養補給食品でも製品を充実させ、食事にお困りのお客様の役に立てよう努めていきます。



# コーポレート・ガバナンスについて

## コーポレート・ガバナンス

### コーポレート・ガバナンスに関する基本方針

2015年6月1日より、上場会社を対象に「コーポレートガバナンス・コード」※(以下、CGコード)が適用され、上場会社は、上場規則により、CGコードについて「Comply or Explain」(原則を実施するか、実施しない場合にはその理由を説明すること)が求められるようになりました。

当社は、CGコードの趣旨・精神を十分に踏まえた上で、当社の持続的な成長と企業価値向上の実現を目的として、2015年10月1日付で「キッセイ薬品 コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」を制定しました。その後、2018年6月のCGコード改訂により2018年11月に基本方針を改訂しました。「キッセイ薬品 コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」に定める事項の実践を通じて適切にCGコードへ対応するとともに

に、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーとの信頼を育み、社会に必要とされる健全で持続的な企業の発展を目指します。

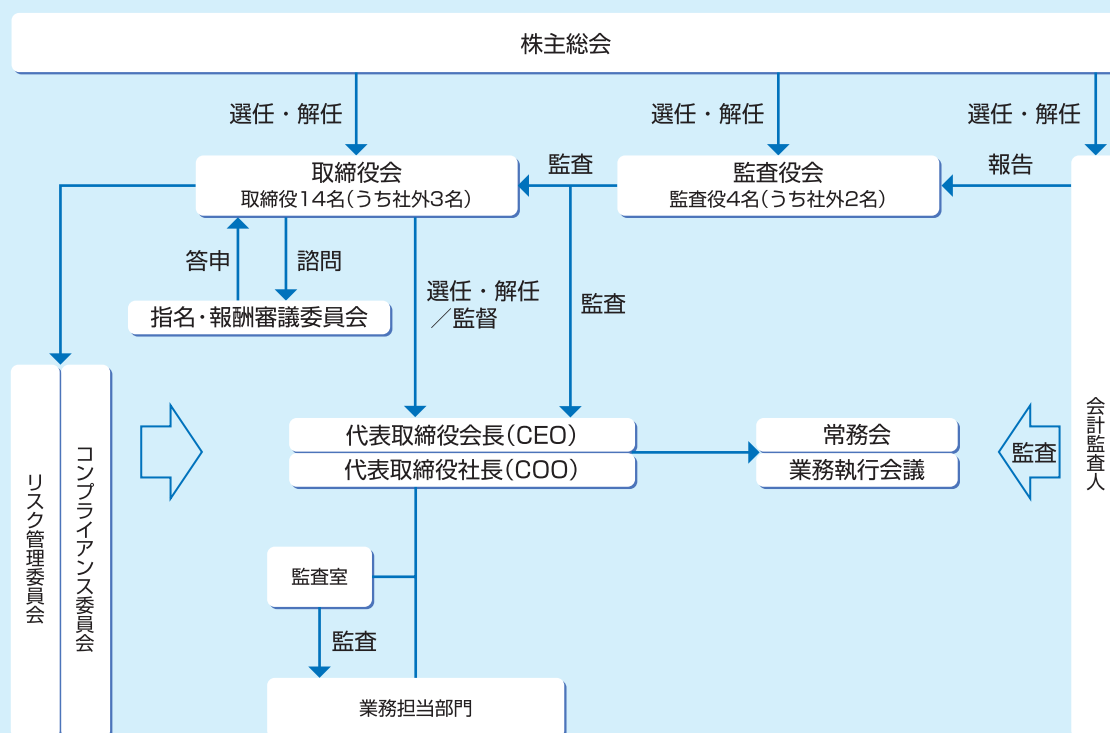
※CGコードとは、政府の成長戦略「『日本再興戦略』改訂2014」において「持続的な企業価値の向上のための自律的な対応を促す」ためのアクションプランとして盛り込まれ、これを受けて、金融庁・東京証券取引所を共同事務局とする有識者会議によりCGコード(原案)が策定され、2015年6月1日より上場規則として適用されました。また、2018年6月には、コーポレート・ガバナンス改革をより実質的なものへと深化させることを目的に、CGコードが改訂されております。

当社のコーポレート・ガバナンスに関する詳細はこちらをご参照ください。

「コーポレートガバナンスに関する報告書」

<https://www.kissei.co.jp/abouts/governance/pdf/governance.pdf>

### コーポレート・ガバナンス体制





## キッセイ薬品 コーポレート・ガバナンスに関する基本方針(要旨)

### 1. 基本的な考え方

- ・コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方と基本方針

### 2. 当社の経営理念、経営ビジョンについて

- ・中長期的な企業価値向上の基礎となる経営理念の策定

### 3. 行動規範について

- ・会社の行動準則(倫理基準、行動規範)の策定・実践・レビュー

### 4. 人材活用の多様性について

- ・人材活用の多様性の確保

### 5. 適切な情報開示について

- ・経営戦略・中長期経営計画の開示と付加価値の高い記載内容

### 6. 利益配分について

- ・配当政策、自己株式の取得・処分及び内部留保に関する基本的考え方

### 7. 株主総会について

- ・株主が適切な判断を行うための的確な情報提供
- ・招集通知の早期発送及び発送前のウェブ開示
- ・株主総会関連の日程に関する適切な設定
- ・実質株主による議決権行使に関する対応

### 8. 株主の権利の確保について

- ・株主の権利の確保
- ・相当数の反対票が投じられた際の対応
- ・総会決議事項を取締役に委任する際の留意
- ・株主の権利行使を妨げないよう求められる配慮

### 9. 株主との対話について

- ・株主との建設的な対話を促進するための体制整備・取り組みに関する方針
- ・株主構造の把握

### 10. 取締役会等の役割について

- ・当社のコーポレート・ガバナンス体制と当該体制を採用する理由
- ・取締役会が経営陣に対して委任する範囲の概要
- ・取締役の員数
- ・取締役会による、取締役会全体の実効性に関する分析・評価
- ・取締役会における審議の活性化を図る取り組み
- ・取締役・監査役に対するトレーニングの方針

### 11. 役員の指名・報酬等について

- ・指名、報酬などに関する諮問委員会の設置状況
- ・取締役会全体としての知識・経験・能力のバランスや多様性及び規模に関する考え方
- ・役員選解任の方針・手続き
- ・役員個々の選解任・指名の理由
- ・取締役の報酬の決定方針・手続き

### 12. 社外役員(社外取締役及び社外監査役)、独立社外取締役について

- ・独立社外取締役の選任に関する方針と3分の1以上選任しない理由
- ・社外役員の兼任状況と兼任に関する方針
- ・社外役員に対するトレーニングの方針
- ・社外役員の独立性判断基準

### 13. 監査役及び監査役会について

- ・監査役及び監査役会の役割・責務
- ・監査役の報酬の決定方針・手続き
- ・監査役と社外取締役の連携状況

### 14. 会計監査人について

- ・外部会計監査人による十分な監査時間、経営幹部へのアクセス、監査役・内部監査部門との連携
- ・外部会計監査人を選定・評価する基準の策定と独立性・専門性の確認

### 15. 内部監査について

- ・内部監査部門との連携、連絡・調整する者の選任

### 16. 当社が保有する株式について

- ・政策保有株式の縮減に関する方針・考え方
- ・政策保有株式の保有の適否の検証内容
- ・政策保有株式に関わる議決権行使の基準

### 17. 関連当事者間取引の方針について

- ・関連当事者間の取引に関する適切な手続きの枠組みと監視の状況

### 18. 内部通報制度について

- ・経営陣から独立した内部通報窓口の設置と規律の整備

### 19. 企業年金基金の運営について

- ・「年金資産運用に関する基本方針」の策定と運用の実施
- ・委託先選任の際の評価項目とモニタリングの実施
- ・「資産運用委員会」の設置
- ・企業年金の運用に携わる人材の育成

## 内部統制基本方針

当社は、「純良医薬品を通じて社会に貢献する／会社構成員を通じて社会に奉仕する」という経営理念の下、役員及び従業員が総力を挙げて企業価値を向上させ持続的発展を目指すとともに、社会的責任を果たすことをここに宣言します。本基本方針は、会社法第362条5項に基づき、当社の内部統制システムの体制整備のために取り組む活動の基本方針を定めたものです。

### キッセイ薬品内部統制基本方針(要約)

#### 1. 取締役及び使用人の職務執行が法令及び定款に適合するための体制

- キッセイ薬品行動憲章に則り、企業倫理・法令遵守をあらゆる企業活動の前提とすることを徹底する。
- 取締役会はコンプライアンス担当取締役を指名し、コンプライアンス推進部門を統括せしめるとともに、取締役会の諮問機関としてコンプライアンス委員会を設置する。

#### 2. 取締役の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

- 取締役会は、当社の取締役及び部門責任者の職務執行に係る情報の保存及び管理を適切に行う体制を整備する。
- 法務担当取締役をして、文書管理規程を制定し、関連資料その他情報と共に、その保存媒体に応じて適切かつ検索性の高い状態で保存・管理する。

#### 3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- 取締役会は、リスク管理規程その他の必要な社内規程を定め、業務執行に係るリスクの把握と管理を行う体制を整備する。

#### 4. 取締役の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制

- 取締役の職務執行の効率性を高めるために、連携と牽制を意図して社内組織を構築し、社内規程の定めに基づく明確な業務分掌、職務権限及び意思決定ルールを設け、適正かつ効率的に職務の執行が行われる体制を確保する。

#### 5. 企業集団における業務の適正を確保する体制

- キッセイグループ行動憲章を定め、これに則り、グループ企業の取締役及び従業員が一体となって遵法意識の醸成を図る。
- 取締役会において関係会社管理規程等を整備し、一定の事項について関係会社の取締役会決議前に当社関係会社管理部門に承認を求め又は報告することを義務づけ、必要に応じ当社取締役会の事前の承認決議を得るものとする。

#### 6. 財務報告の信頼性を確保するための体制

- 財務報告に係る内部統制構築・評価の基本方針書を定め、適切に運用することにより、グループ全体の財務報告の信頼性を確保する。

#### 7. 監査役の職務を補助すべき使用人にかかる体制とその独立性に関する事項

- 監査役が職務を補助すべき使用人を求めた場合は、監査役と協議の上、補助者として内部監査部門の従業員を充てる。

#### 8. 当社の取締役及び使用人並びに関係会社の取締役、監査役及び使用人による監査役又は監査役会に対する報告のための体制、その他監査役監査の実効性確保のための体制

- 当社並びに関係会社の取締役会は、監査役会に報告すべき事項を監査役と協議の上定め、当社各担当取締役、部門責任者又は関係会社の取締役等が報告をする。
- 監査役又は監査役会へ報告を行った当社及び関係会社の取締役・従業員に対し、当該報告をしたことを理由として不利な取り扱いをすることを禁止する。

#### 9. 反社会的勢力を排除するための体制

- キッセイ薬品行動憲章に則り、反社会的勢力及び団体との一切の関係を排除するための社内体制を整備する。

## キッセイグループ行動憲章

キッセイグループがより高い倫理観を持って活動し、社会に貢献していくための行動指針としてキッセイグループ行動憲章を制定しています。全てのグループ社員は、この行動憲章を遵守して行動しています。

### キッセイグループ行動憲章

平成18年7月 制定

私たちは、「輪と和を通じて、より大きく社会に貢献する」というキッセイグループ経営理念のもと、次の行動原則に基づき、すべての法令、規則及びその精神を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

1. すべての事業分野において、社会に役立つ製品やサービスを開発し、提供します。
2. すべての事業活動において、公正、透明で自由な競争を行います。
3. 広く社会とのコミュニケーションを重視し、適切な情報開示を行い、企業活動の透明性を高めます。
4. 従業員の多様性、人格、個性を尊重し、その資質の向上に努めるとともに、安全で働きやすい労働環境を確保します。
5. 環境問題の重要性を認識し、自主的、積極的にその保全に取り組みます。
6. 良き企業市民として、積極的に社会貢献活動を行います。
7. 地域の文化、伝統、慣習を尊重し、社会との調和、共生ができる事業活動をすすめます。
8. 各会社の経営トップは、本憲章の精神の実現を自らの役割とし、率先垂範の上、企業倫理の徹底を図ります。

## キッセイ薬品行動憲章

当社では、本業を通じて当社の社会的責任(CSR)を果たしていく上で、コンプライアンスの徹底が企業経営、活動の根本であると考えています。コンプライアンスを重視する経営を具体的に実践する指針として、当社は、経営の根幹である「経営理念」及び「キッセイ薬品内部統制基本方針」のもとで「キッセイ薬品行動憲章」を制定しました。憲章に謳われているような行動を確実なものとするため、コンプライアンス・プログラムを制度化し、コンプライアンス推進体制を構築しています。

### キッセイ薬品行動憲章

平成26年4月 改正

私たちは、医薬品をはじめとする、優れた製品を開発し提供することにより、世界の人々の健康及び医療の向上に貢献します。そのため、次の行動原則に基づき、国内外を問わず、人権を尊重するとともに、すべての法令、規則及びその精神を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

1. すべての事業分野において社会的に有用な製品を開発し提供します。医薬品事業では、創薬の研究、開発に取り組み、有効性、安全性に優れた有用性の高い、高品質な医薬品を安定的に供給します。
2. 臨床試験は、医療機関の協力を得て、被験者の人権を尊重し、安全確保に留意し、かつ科学的厳正さをもって行います。
3. 医薬品が適正に使用されるよう、国内外の科学的に裏付けられた品質・安全性・有効性に関する情報を的確に提供し、製造販売後の情報の収集・分析・評価とその伝達を迅速に行います。
4. すべての事業活動において、公正、透明で自由な競争を行います。また、医療関係者、取引先、政治、行政等との健全かつ正常な関係を保ちます。
5. 株主はもとより広く社会とのコミュニケーションを進め、社内外に対し適切な情報開示を積極的に行い、企業活動の透明性を高めます。
6. 高度情報技術の進展に伴い、個人情報の適正な保護には十分配慮し、万全の対策を図ります。
7. 従業員の多様性、人格、個性を尊重し、倫理観の高揚と資質の向上に努めるとともに、安全で働きやすい労働環境を確保します。
8. 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存続と活動に必須の要件であることを認識して、自主的、積極的に取り組みます。
9. 良き企業市民として、積極的に社会貢献活動を行います。
10. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体とは、毅然として対決します。
11. 国際事業の展開においては、国際ルールや現地の法律の遵守はもとより、文化や慣習を尊重し、現地の発展に寄与するよう努めます。
12. 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、自社及びグループ企業に徹底するとともに、取引先に周知させます。また、社内外の声を把握し、実効ある社内体制の整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図ります。
13. 本憲章に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努めます。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上で、自らを含めて厳正な処分を行います。





## 教育・研修

法令や社内規程だけでなく、企業倫理を遵守することの重要性を徹底し、コンプライアンスにおける役員及び社員の役割や責任を確実に果たしていくため、役員・部門長、新任管理・監督者、新入社員に対する階層別教育・研修のほか、各部門・部署が分掌している業務に直結したコンプライアンス教育・研修を全社員対象に実施しています。

教育・研修の内容は様々ですが、FCPA(海外腐敗行為防止法)や医療用医薬品の販売情報提供活動GLに関する教育、さらに、近年多様化するハラスメントについては企業の重要課題の1つとして特に力を入れています。

各職場での教育・研修だけでなく、社員自らが率先して知識を深めることができるよう社内イントラネット上に資料を掲示し、啓発を促しています。



管理者を対象としたハラスメント教育(2019年度実施)

## コンプライアンス実践状況の調査

職場、または社員自らのコンプライアンス意識の浸透度合いやコンプライアンス実践状況を確認し、更なるコンプライアンスの徹底を図るために毎年全社員を対象とした「コンプライアンス実践状況アンケート」を実施しています。2019年度のアンケートの回答率は96.7%であり、アンケートを開始した2005年以降、回答率は年々上昇しております。

昨年度は、当社のコンプライアンス・プログラムに対する課題や改善点、ハラスメントについて質問しました。アンケートの結果は集計・分析した上で各部門・部署にフィードバックし、管理者を通じて一般社員への教育が行われています。

今後も調査結果を有効に活用しながら更なるコンプライアンス推進体制の維持・構築に努めてまいります。

## 情報セキュリティ

当社では、情報資産の適正な保護を目的として、2000年に制定したセキュリティポリシー(基本方針)に基づき、情報セキュリティの維持活動を推進しています。この一環として、毎年、各部署において情報漏えいなどの業務活動に潜む情報セキュリティ上のリスクとその対処方法についてe-ラーニングシステムを通じて全社員を対象に教育を行っており、社員意識の向上を通じて、情報セキュリティ事故等の未然防止に努めています。

## 個人情報の取り扱い

法令遵守及び社会貢献の立場から、当社事業に有用な情報資産の管理に積極的に取り組んでいます。

特に『個人情報保護法』について本法における個人情報取扱事業者である当社は、個人情報の保護の重要性に鑑み、本法において規定される当社の責務を全うするべく、経済産業省やその他関連省庁の個人情報保護法に関するガイドラインに従い、2004年12月にプライバシー・ポリシーを制定し、2005年3月以降、「個人情報の保護及び利用に関する規程」、その他の社内規程を整備しております。

また、当社の事業活動における個人情報の利用目的を当社のホームページに公表し、個人情報に関する苦情・相談窓口を設置しております。

当社では、個人情報の管理において、これを営業秘密に準じて取り扱っており、社内規程に従い全部門において個別の内部基準を策定し、管理の徹底を図るとともに、外部持出しパソコンのデータの暗号化など、物理的・技術的な安全管理措置にも積極的に取り組んでおります。

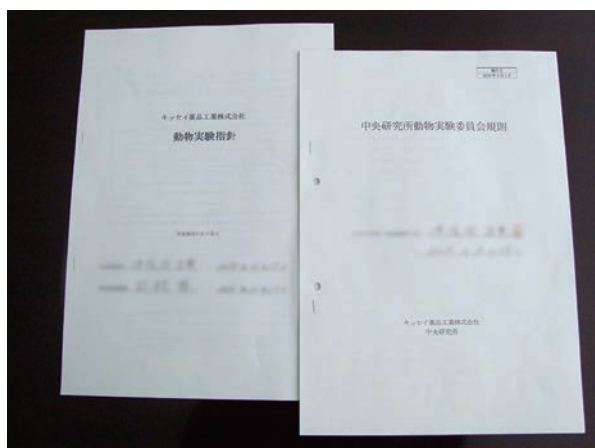
さらに、2006年2月には、情報セキュリティ強化委員会を設置し、経営企画部門、システム企画部門、総務部門、法務部門など、専門分野の異なる担当者をメンバーとして、ハード面・ソフト面その他あらゆる角度から全社的な情報セキュリティ対策に取り組んでいます。

また、2016年1月に運用が開始されたマイナンバー制度への対応として、2015年10月に特定個人情報(マイナンバー等)取扱規準を制定するとともに、特定個人情報を取り扱う部署ごとに業務マニュアルを作成し、個人番号(マイナンバー)を含む特定個人情報の適切な利用及び保護を推進しています。

当社は、今後も社内体制の整備を推進し、個人情報を含む情報資産の保護と活用を図ってまいります。

## 動物福祉に配慮した動物実験

当社では、実験動物を使用するにあたり、動物福祉の観点からも適切に実施されるように、「キッセイ薬品工業 動物実験指針」に則り、各研究所の動物実験委員会の審査を経て実施しております。同指針は、「動物の愛護及び管理に関する法律」及び当法律に基づいた「動物の処分方法に関する指針」、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」、並びに「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」の趣旨を十分に反映したものであり、動物数の削減(Reduction)、代替試験法の積極的な採用(Replacement)、苦痛の軽減(Refinement)を念頭において作成されております。2019年の動物を用いた実験の実施状況については自己点検・評価を行い、動物実験が適正に実施されていることを確認いたしました。



動物実験指針等



AAALAC認証盾

## ヒューマンサイエンス振興財団認証更新

中央研究所の動物実験施設について、2018年に第三者認証機関であるヒューマンサイエンス振興財団による施設実地調査が実施され、当研究施設が動物実験施設として更新認定されました。

「動物の愛護及び管理に関する法律」の改定により、実験動物の規制強化が求められている中、第三者認証の取得は、当社が厚生労働省より通知された「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本方針」に基づいて、適正に実験動物飼育と動物実験を行っている証になります。



ヒューマンサイエンス振興財団認証書

## AAALAC完全認証更新

安全性研究所では、2015年3月に唯一の国際的第三者評価機関であるAAALAC International<sup>※</sup>(以下、AAALAC)より、国際水準施設としての完全認証(Full Accreditation)を取得、2018年に完全認証を更新しました。AAALACは、Institute for Laboratory Animal Research(ILAR)ガイドブックに基づいて動物実験施設を評価・認証する50年を超える歴史を有する権威ある国際的機関(非営利団体)です。AAALAC認証されることにより、国際的な基準に合致して実験動物の飼養・保護・管理が適切に行われている施設であることが客観的に証明されたことになります。

※ The Association for Assessment and Accreditation of Laboratory Animal Care International : 国際実験動物ケア評価認証協会

自主的な審査と認証プログラムを通して、科学における動物の人道的な管理などを推進する民間非政府組織



# 社会性活動について

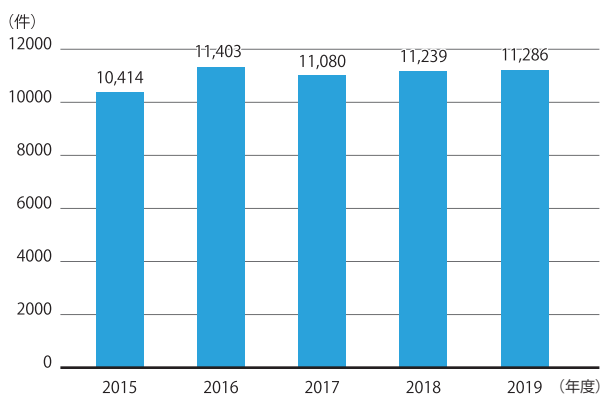
## 患者さんとの関わり

### くすり相談の窓口

医薬品の適正な使用を促し、有効かつ安全に使用いただくため、当社では、「くすり相談センター」を設置し、医療関係者のみならず、患者さんや一般の方などからのさまざまなお問い合わせに対応しています。2019年度は、11,286件の問い合わせに対応いたしました。緊急の問い合わせが想定されるアントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出治療薬サベーンと、日本初の注腸フォーム製剤である潰瘍性大腸炎治療薬レクタブルには、専用ダイヤルを設置して相談しやすい体制を構築しております。

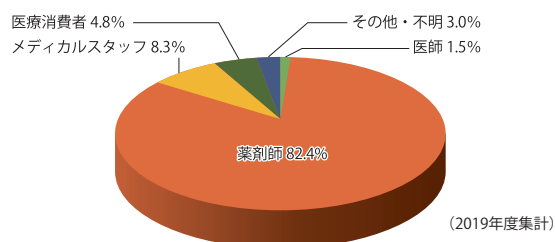
### 相談件数

◆相談件数の推移(くすり相談センター回答、社外のみ)

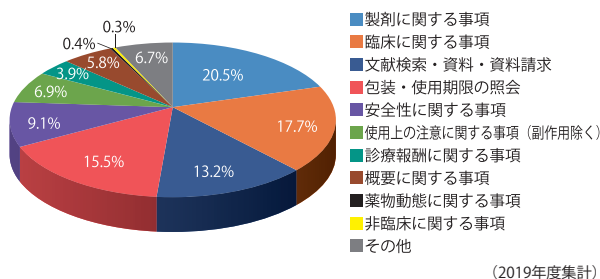


### 相談者、相談内容の内訳

◆相談者別



◆相談内容別



### 医薬品情報の収集と適切な情報提供

医薬品の承認・発売までに得られる情報は、限られた条件下で実施される臨床試験から収集されるものであり、発売以降、多くの患者さんに医薬品を適切にご使用いただくためには、引き続き安全性と有効性について確認していく必要があります。発売後に得られる情報は、医療関係者や患者さんから当社のくすり相談センターに直接寄せられるものや、MRの医薬情報提供活動において医療関係者から入手するものなどがあります。また、新しい医薬品の発売後には数百から数千人の患者さんを対象とした製造販売後調査や製造販売後臨床試験等を実施して、安全性や有効性に関する情報を体系的に収集することもあります。収集した情報に基づき、新たな安全対策や適正使用に関する情報提供が必要と判断した場合は、速やかに医療関係者や患者さんに周知しています。さらに、海外でも販売されている医薬品については、海外提携会社と安全性情報を交換し、国内のみならず世界各地の患者さんに安全に使用していただけるよう、国際的な安全監視活動を行っております。

### キッセイクルの発行

当社は、医療関係者の方々への独自の情報提供を目的として、1983年7月より医学情報誌「キッセイクル(KISSEI KUR)」を年4回、各号約3万部発行しています。

当社関連疾患分野におけるトップオピニオンへの取材記事をはじめ、特色ある取り組みを実践している医療機関の紹介や、信州創業の企業という特色を生かして信州の自然を紹介するといった、気軽に読めてかつ有用な情報をお届けできる紙面構成を心がけています。

誌名のクール(Kur)はドイツ語で治療(英語のCure)を意味しており、“クール”な情報を医師・薬剤師・看護師をはじめ多くの医療関係者の皆様にお届けしています。



キッセイクル(KISSEI KUR)



## 安全性・有効性情報などの活用

### 1) 安全性情報提供システム

当社は2006年10月から独自に開発した安全性情報提供システムを用い、医療現場において副作用などの問合せに迅速に対応しています。このシステムにより、MRが携帯するモバイルPCと安全性情報部で作成した安全性情報のデータをリンクさせて、オン・デマンドで即時に情報を提供しております。

医療関係者へ提供できる安全性情報は、副作用の件数、程度、転帰等を一目で見ることができ一覧表「副作用プロファイル」と、個別症例の情報を見ることができる「ラインリスト」の2種類です。

これらの情報を迅速に提供することにより、当社製品をより適切に、より安全に使用していただくことができるとともに、医療関係者から当社MRがより信頼されるようになりました。

### 2) 副作用情報の分析・提供

新製品におきましては、承認後に市販直後調査を適切に実施し、適時的確に副作用の発現状況等を医療関係者に提示することで新薬の適正使用を推進しております。

また、全ての当社医薬品の使用に際し、特に注意が必要な副作用については顧問医師を招いた症例検討会を開催し、慎重に検討を行っています。集積されたデータを用いて発現傾向・背景などの分析を行い、患者さん及び医療関係者に向けて適正使用推進のための情報を提供しています(適正使用資材、More Safety等)。

### 3) 製造販売後調査成績の集計・提供

製造販売後調査等で収集された安全性・有効性に関する情報は、集計・解析の後、その結果を取りまとめた冊子の配布などを通じて調査にご協力いただいた医療関係者にフィードバックしています。また、学会誌等への掲載によってより広範な関係者に周知されることもあります。



More Safety

以上のように、当社では患者さんに当社製品を有効かつ安全に使用していただけるよう様々な取り組みを行っています。

## 排尿障害改善薬「シロドシン」の開発 令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 「科学技術賞」(開発部門)受賞

当社が創製した前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「シロドシン」(製品名: ユリーフ®)の開発について、本剤の発明に貢献した4名の研究者が、令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において「科学技術賞」(開発部門)を受賞しました。

シロドシンは、「ユリーフ®」として、2006年5月に世界に先駆けて日本で発売されて以来約14年が経過しましたが、現在でも世界58の国と地域で販売されています。今回の受賞は、シロドシンの研究開発が我が国の社会経済、国民生活の発展向上等に寄与する画期的なものと高く評価されたものです。

当社は今後も創薬研究開発型企業として、患者さんのお役に立てる独創的な新薬の研究、開発に、積極的に取り組んでまいります。

<ご参考>文部科学大臣表彰「科学技術賞」(開発部門)は、「現在、実際に利活用され、我が国の社会経済、国民生活の発展向上等に寄与する画期的な研究開発若しくは発明に対する表彰」とされています。

### 社員の声

## 安全性情報部と環境保全

安全性情報部 情報管理課

河 口 充



安全性情報部は、医薬品を安全かつ有効に使用いただくため、安全管理に関する業務を主に行っています。日々、医薬品の安全性・有効性に関するデータの収集と評価を行い、重要な知見が得られた際は添付文書の改訂などの安全対策を実施しています。

収集しているデータは多岐に渡り、医療関係者や患者さんからの報告、文献、治験・製造販売後調査など様々で、印刷物も多くなりますが、印刷は業務に支障のない程度に最小限とし、両面・集約印刷を徹底するとともに、文書の電子化を推進し紙の削減に努めています。

当部の所属する小石川ビルにおきましても不要箇所の消灯や適切な空調設定、ゴミの分別廃棄やリサイクル、また社会貢献活動として社員一斉清掃や地域美化活動など行っています。

今後も、このような素晴らしい取り組みを継続しつつ、より良い環境になるよう「小さなことからコツコツと」気が付いたことから各人が実践していく風土を持ち続けたいと思います。

## 社会との関わり

当社は、良き企業市民として、地域とのつながりを重視しています。地域文化、医療、健康、福祉、環境、スポーツなどそれぞれの分野で積極的な活動を展開し、社会貢献活動を続けています。

### 地域文化への貢献 —— 地域文化を育み、未来へ ——

1946年(昭和21年)に信州・松本の地で創業以来、当社は全国各地から海外へと事業拠点を拡大してまいりましたが、現在も地域社会とのつながりを大切に、郷土に根ざした企業であり続けたいと願う社風が息づいています。特に、「人びとの健康で豊かな暮らしのお手伝いを」という信念から、地元にも古くから伝わり、心の拠り所となっている大切な社会的・文化遺産の保存や教育文化施設の建設にも協力してきました。その中から主な活動内容を紹介いたします。

### 医療、健康への貢献

#### ①公益財団法人 神澤医学研究振興財団

1997年6月27日、当時の代表取締役会長神澤邦雄からの私財の提供並びに当社の創業50周年を記念しての資金提供により設立されました。

設立当時、出生率の低下及び平均寿命の伸長は、近い将来深刻な少子・高齢化社会を出現させ、社会経済的に重要な課題となることが予想されていました。この課題解決のために医療面から女性の健康の保持・増進に貢献することは大きな意義を有するものと考えられました。このような背景の下に、周産期を中心とするリプロダクティブ・エイジ及び高・老年期の女性に発現する各種疾患に関する成因、予防、診断、治療等の多角的な研究(以下、対象研究)の奨励等を行うことにより、医療・医学の発展を図り、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的として運用されています。

この目的を達成するため、対象研究に関する以下の事業を行っています。

- (1)研究助成
- (2)海外留学助成
- (3)優れた研究成果に対する褒賞(神澤医学賞)
- (4)講演会等の開催

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、講演会等の開催を延期しました。

これまで(1997年～2019年)の褒賞及び助成件数並びに金額の累計は以下のとおりです。

|        | 件 数  | 金 額      |
|--------|------|----------|
| 神澤医学賞  | 21件  | 6,200万円  |
| 研究助成   | 227件 | 26,200万円 |
| 海外留学助成 | 86件  | 4,300万円  |

#### <2019年度の褒賞及び助成件数>

##### 神澤医学賞

|       |                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------|
| 受賞者   | 梶山 広明 准教授                                                     |
| 研究機関  | 名古屋大学 大学院医学系研究科 産婦人科学教室                                       |
| 研究テーマ | 若年卵巣がん患者の妊孕性温存治療に関する学際的研究：～微小腹膜播種克服を目指した分子生物学的アプローチから疫学的研究まで～ |

研究助成：10件、海外留学助成：4件

#### <2020年度の研究及び海外留学助成募集開始>



2020年度募集ポスター

#### ②医学界、地域等への貢献と透明性確保

当社は、医学界、地域等への応分の寄附を継続し、それらの発展に寄与しています。

2011年12月には社会から更に高い信頼性を得られる「創業研究開発型企業」になることを目指して、「企業活動と医療機関等の関係の透明性に関する指針」を制定しました。

また、2013年4月には「企業活動と患者団体との関係の透明性に関する指針」を制定しました。

| 区 分    | 詳 細             |
|--------|-----------------|
| 指定寄附金  | 国公立大学、赤い羽根共同募金等 |
| 特定公益法人 | 私立大学、財団法人等      |
| 学会協賛   | 学会、研究会等         |
| その他    | 地域への寄附等         |

### ③信州大学との共同研究講座

当社は、2012年4月1日より信州大学医学部内に創業科学講座(連携講座)を開設しています。

大学と当社が協働して創業科学のレベルを高め合い、創業科学を担う人材育成、科学技術の振興などを目的としています。

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| 設置期間    | 2012年4月1日～2021年3月31日    |
| 教員及び研究員 | 教授1名、特任教授1名、准教授1名、研究員2名 |

### ④順天堂大学へ共同研究講座

当社は、2012年4月より順天堂大学大学院医学研究科に寄附講座を開設、2018年4月より共同研究講座として継続し、新規治療法の開発等、医療の向上に貢献することを目的としています。

### ⑤信毎健康フォーラム

当社は、信濃毎日新聞社及び信毎文化事業財団が主催し、年4回、長野県下において開催される「信毎健康フォーラム」に協賛しています。

本フォーラムは、信州大学医学部などの専門の先生方が、糖尿病、高血圧、メタボリックシンドロームなど、人びとの関心の高いテーマについて、一般の方を対象に、講演やパネルディスカッションを通じて日常生活に役立つ健康知識を分かりやすく提供するものです。

当社は、人びとの健康の保持・増進に資することを目的に、1994年開催の第1回目から協賛しており、2019年12月には節目となる第100回目のフォーラムが開催されました。



信毎健康フォーラム(2019年度実施)

### ⑥長野県SDGs推進企業登録制度への登録

国連加盟国が2015年に採択したSDGs(持続可能な開発目標)を掲げるなか、長野県では2019年4月に「長野県SDGs推進企業登録制度」を創設し、当社は同年7月に同制度に登録いたしました。

SDGsの目標3には、「あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」も定められています。当社は、経営理念のもと、コンプライアンスを基盤として、世界の人びとの健康に貢献できる革新的な医薬品や医療ソリューションを創出し提供することにより、新しい価値を提供し、社会に貢献していくことが創業研究開発型企業の使命と考えております。これと同時に、エネルギー使用量の削減や、誰もが働きやすい職場環境の実現など、環境・社会・経済の側面をバランスよく捉えた企業活動を積極的に推進し、保健分野をはじめとするSDGsの達成に貢献してまいります。



長野県SDGs推進企業登録証



### ⑦新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

日本経済団体連合会からの呼びかけに応じ、DS2マスク1,000枚を提供しました。

また、本社、工場、研究所所在地の松本市、塩尻市、安曇野市に対し、厳しい状況下で日夜業務に当たる医療従事者などの感染予防にあてた支援事業に役立ててもらうため、計2,000万円の寄附をいたしました。



## 福祉への貢献

### ①児童養護施設への寄附

本社・松本工場及び塩尻地区では、野球部や女子テニス部をはじめ、各クラブの成果発表や個人の作品展示の場として文化祭を開催しています。期間中はクラブ展示のほか、社会貢献活動の一環として、募金活動やチャリティーバザー、オーガニックコンポスト※の販売をしています。オーガニックコンポストの収益を含め、募金やバザーの売上金等は、児童養護施設「松本児童園」に寄附しています。

※「オーガニックコンポスト」は、社員食堂の生ごみを発酵させた環境に優しいリサイクル有機肥料で、土壌改善、作物の育成に適しています



チャリティーバザー

### ②エコキャップ

当社では、回収ボックスを設置しペットボトルのキャップを集めて、廃棄物業者へ引き渡しています。廃棄物業者ではキャップを再生原料に加工し、その売上金の一部をNPO法人へ寄附しています。

2019年度は、年間で28kg(12,180個)のペットボトルキャップを収集し、廃棄物業者へ引き渡しました。

また、キャップを焼却処分せずに再資源化することは、二酸化炭素の排出削減にもつながります。

当社では、今後も継続してこの活動に取り組んでまいります。

### ③令和元年台風第19号による災害に対する支援

キッセイグループ4社(キッセイ商事株式会社、キッセイコムテック株式会社、ハシバテクノ株式会社及び当社)は、義援金及びキッセイグループ役員・社員による支援募金を長野県災害対策本部に拠出しました。

一日も早く、被災された皆様が平穏な生活を取り戻されるとともに、被災地が復興することを、心より祈念いたします。

### ④ブックドネーション

ブックドネーションとは、会社や家庭で読み終えた書籍や、使い終えたDVD、CD、ゲームソフトを買い取り専門会社が査定し、買い取り相当額を指定した団体に寄附するチャリティーの仕組みです。

当社では、長野県上田市にある古本買い取り専門会社の(株)バリューブックスへ社員から回収した書籍を送り、「陸前高田市立図書館ゆめプロジェクト」を寄附先としています。

東日本大震災で失われた図書館は、寄附金により2017年7月に再建されました。その後も書籍購入等の支援として活動を継続しています。

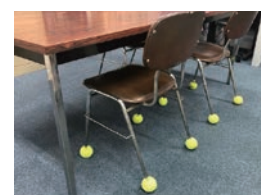
当社は、2010年9月よりこの活動を開始し、今までに約6,800冊の書籍を(株)バリューブックスへ送り、買取金額約191,000円を寄附しました。



陸前高田市立図書館 外観

### ⑤テニスボールリユース活動

当社のテニスクラブの活動で使えなくなったテニスボールは「テニスボールリユース活動」を通して、再利用されております。



このボールは、小中学校の机と椅子の脚に取り付けられ、子どもたちが静かで落ち着いた環境で勉強できるようになります。

また、社内においても、床に傷がつかぬよう、活用しています。

これからもテニスクラブではスポーツを通じて地域社会に貢献していきたいと考えております。

| 年 度  | 寄附先      | 寄附数(個) |
|------|----------|--------|
| 2015 | 石川県内灘町内  | 300    |
| 2016 | 青森県弘前市内  | 535    |
| 2017 | 山口県下関市内  | 524    |
| 2018 | 佐賀県佐賀市内  | 612    |
| 2019 | 石川県中能登町内 | 600    |
| 合 計  |          | 2,571  |



## 地域・環境への貢献

2019年度の主な活動内容は以下の通りです。

| 時期  | 主 催                           | 活 動 内 容                                          |
|-----|-------------------------------|--------------------------------------------------|
| 4月  | キッセイ薬品工業(株)                   | 中央研究所、塩尻工場見学(薬剤師会及び薬学実習生)                        |
| 5月  | キッセイ薬品工業(株)                   | 当社の各事業所周辺の歩道、側溝の清掃(ごみゼロ運動)                       |
|     | 松本市環境衛生協議会連合会                 | 松本市中心部の道路、公共施設の清掃(ごみゼロ運動)                        |
|     | 東京都中央区「クリーンデー」&むろまち小路を洗う会     | 日本橋室町町内の歩道等の清掃                                   |
|     | キッセイ薬品工業(株)                   | 塩尻工場見学(中学生)                                      |
|     | キッセイ薬品工業(株)                   | 中央研究所見学(中学生)                                     |
| 6月  | 松本市地球温暖化防止市民ネットワーク            | 「美術館のキャンドルナイトIN MATSUMOTO」：地球温暖化対策推進活動への参加、協力    |
|     | 松本市教育文化センター                   | 親子科学教室への参加、企画運営                                  |
| 7月  | 日本橋を洗う会、国土交通省                 | 企業、地域住民、行政などと共同による日本橋(東京都中央区)の清掃                 |
|     | キッセイ薬品工業(株)                   | 塩尻工場見学(中学生、薬剤師会及び薬学実習生)                          |
|     | キッセイ薬品工業(株)                   | 中央研究所(薬剤師会及び薬学実習生)                               |
| 8月  | 松本ほんぽん実行委員会                   | 松本ほんぽんへの協賛、参加、ゴミ拾い                               |
|     | 松本市地球温暖化防止市民ネットワーク            | 「打ち水大作戦」：本社・松本工場の敷地内へ井水を利用した散水                   |
|     | キッセイ薬品工業(株)                   | 中央研究所見学(高校生)                                     |
| 9月  | キッセイ薬品工業(株)                   | 信州大学経法学部 環境法務実習                                  |
|     | キッセイ薬品工業(株)                   | 第二研究所見学(地域住民代表)                                  |
| 10月 | 松本市環境衛生協議会連合会「散乱空き缶等追放キャンペーン」 | 松本市中心部の道路、河川緑地の清掃                                |
|     | キッセイ薬品工業(株)                   | 塩尻工場見学(高校生)                                      |
|     | キッセイ薬品工業(株)                   | 当社の全国事業所及びグループ会社周辺の歩道、側溝及び公園を中心とした公共施設の清掃        |
| 12月 | 穴田川をきれいにする会                   | 企業、地域住民、自治体の共同による河川の清掃                           |
|     | キッセイ薬品工業(株)                   | 塩尻工場見学(高校生)                                      |
|     | 松本市地球温暖化防止市民ネットワーク            | 「冬のキャンドルナイト」：地球温暖化対策推進活動への参加、協力                  |
|     | 長野県環境保全協会                     | 会員企業の余剰となったカレンダー、ダイアリー類を市民へ無料配布の協力(於：信毎メディアガーデン) |
| 2月  | キッセイ薬品工業(株)                   | 安全衛生部会員(小石川)による小石川ビル周辺清掃活動                       |



穴田川の清掃



打ち水大作戦

### ①親子科学教室

松本市では小学生の親子を対象とした「親子科学教室」を開催しており、2009年から当社も社会貢献活動の一環として参加しています。

当社の社員が企画から運営まで行っており、参加者は白衣着用のほか、研究員が使用する道具等を使うことで、普段体験することがない機会に子どもたちだけでなく、保護者の皆さんにも楽しんでいただいております。また、子どもたちが真剣に取り組む姿や実験に成功した時の笑顔に刺激を受けることも多く、参加する社員にとっても貴重な経験となっています。

小さな取り組みではありますが、一人でも多くの子どもたちに科学に興味・関心をもってもらえるように、さらには研究者を志すきっかけのひとつになるよう、今後も引き続き活動してまいります。

#### 社員の声

### 親子科学教室

広報部 広報課  
池田 徹矢



当社が社会貢献活動の一環として参画している親子科学教室。親子で楽しそうに実験に取り組む姿をCSR報告書や社内報などで目にし、少しでもお役に立ちたいという想いで、ボランティアスタッフとして参加しました。

今回の科学教室はスライムの作製。参加される方々にけがが起きないよう、少しでも楽しんでいただけよう、十分に事前の打ち合わせやリハーサルを重ね、当日を迎えました。

私が担当したご家族は、お母さんと兄妹のお子さん二人。マニュアル片手に夢中になって実験を進めるお兄ちゃん、お兄ちゃんに負けじと手を進める妹さん。二人のキラキラと輝く目、大切そうにスライムを持ち帰られた姿がとても印象的でした。

一生懸命実験に取り組む姿、創り出した成果物に対する想い。創業研究開発型企業の一員として、自分自身を見直す良い機会になりました。



親子科学教室(2019年度実施)

### ②学生の企業見学

近年、将来の進路を選択するために学生の企業見学が増えています。当社においても、薬学生や長野県内の高校生・中学生の皆さんを中心に、企業見学を受け入れています。

塩尻工場や中央研究所、第二研究所の施設内の見学や、業務紹介をするなど、当社の事業内容を知っていただく良い機会となっています。

また定期的に地域住民の代表の方ともコミュニケーションを取り、当社の活動にご理解をいただいております。



塩尻工場見学(2019年度実施)

### ③環境法務実習

2017年より信州大学経法学部の学生を対象に環境法務実習を実施しています。この実習は学生たちが大学で学んでいる環境法が社会の現場でどのように実践されているかを理解いただく機会となっています。松本本社敷地内の排水処理施設、ボイラー、コージェネレーションシステムや廃棄物保管場所などの環境関連設備の見学等を行い、会議室では学生たちからの環境法等に関する報告や当社環境関連データをもとに、法的届出書類の模擬実習などを通じて意見交換を行っています。



信州大学環境法務実習(2019年度実施)



#### ④松本ぼんぼん

「松本ぼんぼん」は、毎年8月の第1土曜日に開催され、松本市を代表する夏のイベントとなっています。会場となる中心市街地は歩行者天国となり、企業や学校などを主体とした「連」と呼ばれるグループ単位で参加する約2万人の踊り手と大勢の見物客でにぎわいます。

「キッセイ連」は、グループ会社の社員及びその家族約150名が「基本に忠実に笑顔あふれる踊り」を披露し、前年の最優秀賞に続き、2019年度は「優秀賞」を受賞しました。

また、本祭りは終了後に参加者・見物客全員による一斉清掃が行われることも特徴の一つです。

私たちキッセイ連は今後もキッセイの活力をアピールするとともに地域との連携を深めてまいります。



松本ぼんぼん踊りの様子(2019年度実施)

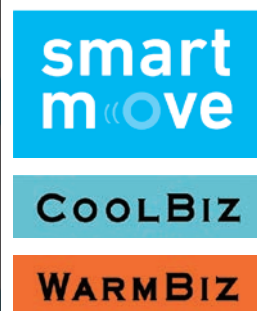
#### ⑤COOL CHOICEへの賛同

2015年に、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択され、世界の平均気温上昇を2度未満にすること、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実施ゼロにすることが打ち出されました。政府はその目標に向けた脱炭素づくりに貢献するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を推進し、当社もその運動に賛同しています。

当社は、関連する取り組みとしてこれまでのクールビズ、ウォームビズに加え、長野県が実施した信州スマートムーブ通勤ウィークへ参加し、ノーマイカー通勤、エコドライブ通勤などにも取り組んでいます。



「移動」を「エコ」に。



#### ⑥薬剤師セミナーへの講師派遣

長野県薬剤師会が中高生を対象に年1回開催している「長野県薬剤師セミナー」へ講師の派遣を依頼され、毎回当社社員も講師を務めています。

当セミナーは薬剤師に興味がある中高生やその保護者など100名以上が参加しており、製薬企業のほか、薬局、病院、行政などの立場から、日ごろの業務における薬剤師の役目、仕事のやりがい他について講演しています。またセミナー終了後は個別相談にも応じ、より具体的な内容について説明しています。

当社はこのセミナーを通し学生の進路選択の一助として、また薬業界や地域産業の発展に寄与できればと思います。



中高生を対象とした薬剤師セミナー(2019年度実施)

#### 社員の声

#### 中高生へ薬剤師の魅力を伝えました



信頼性保証本部 薬制部 薬事管理課  
荒川 伸介

長野県薬剤師セミナーは、県内の中高生やその保護者へ薬剤師という職種の魅力を伝えることを目的に長野県薬剤師会が2017年から主催しています。私は初回から参加し、製薬企業の社員として新薬の研究開発の流れや上市後の安定供給の重要性、また薬制部員としてのやりがい等について講演を行いました。企業は病院や薬局と異なり、薬剤師固有の業務がほとんどないため、薬剤師の「役割」や「魅力」を説明するのは難しいですが、研究から市販後の活動という流れのあらゆるところで活躍していることを伝えています。講演後の個別相談では、毎年多くの学生がブースを訪れ、「製薬企業に入るための大学選びはどうしたらよいか」「研究部門以外にはどのような職種があるか」などの質問があり、企業に対する関心の高さを感じています。このような活動を通して、薬学を志す学生が増えるとともに、大学卒業後に薬剤師等として長野県内に戻ってきて活躍してくれることを願っています。



## 文化芸術への貢献

### ① キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)

#### ネーミングライツ

2012年7月に松本市にある長野県松本文化会館のネーミングライツを取得いたしました。長野県松本文化会館へ「キッセイ文化ホール」の愛称を付与することにより、ネーミングライツ料が本施設の維持・管理費用に活用されることを通じて文化芸術振興への寄与と本施設サービスの向上を図ることを目的としております。

キッセイ文化ホールではセイジ・オザワ 松本フェスティバル、各種コンサート、吹奏楽団の演奏会など多種多様なイベントが開催されています。



キッセイ文化ホール 外観



キッセイ文化ホール 大ホール

キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)

### ② セイジ・オザワ 松本フェスティバル

音楽は、世界共通の言葉です。人びとが共感し、感動できる文化活動を応援し、育んでいくことは、企業の重要な役割であると当社は考えています。

1992年9月から毎年1回、松本で開催される音楽祭「セイジ・オザワ 松本フェスティバル(旧 サイトウ・キネン・フェスティバル松本)」は、世界屈指のマエストロ小澤征爾氏のもとに、世界中から優れた音楽家たちが結集し、サイトウ・キネン・オーケストラを中心にオペラやコンサートなど、心に響く最高水準の音楽を日本から世界に向けて発信しています。当フェスティバルはキッセイ文化ホールなど、松本市内各会場にて開催されます。

当社は、サイトウ・キネン財団の理事として、第1回より協賛しています。



©山田 毅



チャイコフスキー オペラ「エフゲニー・オネーギン」より ©大窪 道治

セイジ・オザワ 松本フェスティバル

## スポーツへの貢献

### ①市民タイムス旗早起き野球大会

松本市の新聞社「市民タイムス」は、野球を通じて生きがいや友情・連帯を育み、地域の活性化、スポーツ文化の振興を目的に、毎年、少年野球大会、早起き野球大会を開催しています。

当社は、本大会への協賛を行い、地域の人びとの健康増進と交流に貢献しています。



少年野球大会(市民タイムス提供) (2019年度実施)

### ②信州チャレンジスポーツDAY

長野県体育センターは、1978年に長野県で開催されました「やまびこ国体」を契機に設立され、生涯スポーツの振興・普及に努めています。

残念ながら2019年度は台風の影響により中止となりましたが、当社は、このセンターが参加者の健康意識の高揚や体力の向上を目指すとともに、より豊かなスポーツライフの実現を図る目的で開催している「信州チャレンジスポーツDAY」に協賛しています。



信州チャレンジスポーツDAY(長野県体育センター提供) (2018年度実施)

### ③駅伝、マラソン、陸上競技大会

当社は、県民の心身の健全な発展に寄与することを目的に、塩尻市ぶどうの郷ロードレース、信州安曇野ハーフマラソンや長野県障がい者スポーツ大会、松本マラソンなど多くのイベントに協賛しています。



信州安曇野ハーフマラソン(2019年度実施)

### ④松本山雅フットボールクラブの支援

当社は、松本山雅フットボールクラブのオフィシャルスポンサーです。

松本山雅フットボールクラブは1965年に長野県松本市において結成され、現在は、再度J1昇格に向けチーム一丸となって戦っています。当社は、サッカーを通じ、地域に元気と活力をもたらし、未来ある子どもたちと地域の人びとに夢と感動を与えられるような「まちづくり」「ひとづくり」と、「未来づくり」に貢献することをビジョンに掲げ、活動している当クラブを応援しています。



©松本山雅 FC



## 社員との関わり

### 人事制度に対する考え方

当社の人事に対する基本的な考えは「様々な考え方や価値観の人が相互に認め合い、刺激を与え合うことが企業にダイナミズムと創造性をもたらす」という観点に立脚しています。

雇用形態、就労形態、人事処遇制度など労働環境の整備を進め、社員の適性やライフプランを考慮する多選択型人事制度をはじめ、みなし勤務制度やフレックスタイム制度など柔軟な就労形態を多くの部署で導入し、多様な人材がそれぞれの能力を発揮できるよう配慮しています。また、定年退職後の再雇用制度を導入し、多くの方が定年退職した後も、それまでの経験や技術・知識を生かして働くことができる仕組みづくりに努めています。

### 目標管理制度

当社の目標管理制度は、評価制度ではなくマネジメントツールであると位置づけて、目標設定にウェイトを置いています。各職場が上げるべき成果は何かを真剣に考えて、個々の役割を明確にし、目標達成に向けて自立的な行動を実践することができれば、社員個々の成長が会社の成長と結び付くことになると考えています。

### 人材育成

人材育成の目的を「社員が個人としても組織人としてもその持てる力を最大限に発揮すること」とし、育成すべき人材像を「人材育成ビジョン」として定めています。ビジョンの実現のため中長期的に各種人材育成施策を有機的に展開し継続的・計画的な育成を図っています。

最長4ヵ月間の新入社員教育をはじめ、新入社員に若手先輩社員が指導役となるエルダー制度や新任管理職・監督職研修など、キャリアステージに応じた能力開発を支援する人材育成制度を整備しています。この

ような階層別研修に加え、研究職・MR職など職種毎の職能別教育も充実しています。日常的にも目標管理制度によるOJTを中心に、各種研修会や通信教育講座により職務能力の強化を図っています。また、昇格などの節目には自身のキャリアについて上司と話し合う能力・キャリア開発面接制度があり、中長期的な能力開発を行っています。

#### <人材育成ビジョン>

- ①会社の社会的使命を認識し、会社の発展に寄与・貢献する、優れた創造力と強い責任感及び実行力ある自立型社員を育成する。
- ②経営と技術の革新に即応した会社業務の遂行に必要な知識、能力の向上を図り、組織目的の能率的達成を推進し得る有能な企業人を育成する。
- ③広い視野をもち、豊かな教養と円満な人格を備え、良好な人間関係を築き得る誠実でかつ人間性豊かな社会人を育成する。

### 企業理念の浸透について

当社の強みは、企業理念の浸透にあります。年頭式典、入社式での経営層からのメッセージや、新入社員教育をはじめ、機会ある毎に繰り返し社会や患者さんへの貢献が語られ、役員・社員が業務遂行において判断を下す基準が明確に示されています。

### 休暇制度

#### 年次有給休暇の取得促進

当社では、法定を上回る年次有給休暇を付与すると共に、使用を促進するために年2日間の全社一斉有給取得(2019年度)、年3日間のメモリアル休暇制度(計画取得する有給休暇制度)を設定し、更に時間を単位とした取得も可能としています。

2019年度の有休消化率<sup>※</sup>は59.1%でした。

<sup>※</sup>有休消化率は、当年度付与分のみに対する取得の割合。

#### リフレッシュ休暇、慶弔休暇

勤続年数が10年、20年、30年の節目を迎えた年度には5～10日間のリフレッシュ休暇が付与されます。また、結婚、配偶者出産など社員本人や家族に慶弔が発生した際にも1～6日間の慶弔休暇が取得できます。



新任管理職研修(2019年度実施)



## 時間外労働削減

時間外労働削減に向けて、当社では継続的な取り組みを推奨しています。本社・研究所などでは毎週水曜日及び給賞与支給日をノー残業デーとし、支店・営業所では内勤日及び給賞与支給日を定時退社推進デーとしており、業務を効率化することで時間外労働を削減しています。

## 再雇用制度

当社では、最長で65歳になるまで引き続き勤務することができるシニアスタッフ制度(再雇用制度)を導入しています。この制度は、定年退職した後も、それまでの経験や技術・知識を生かしてもらえるように、社員の意欲や能力などに応じて改めて雇用する制度です。シニアスタッフは、既に社内のさまざまな部門で活躍しています。

## 労使関係の状況

当社には企業内労働組合が存在しませんが、全社員の代表十数名と経営側の代表とで労使協議会を設置しています。人間主体を志向する時代の流れを捉えて、より新しく豊かな労使関係を創造することを目的とする労使協議会は、社員の社会的経済的地位の向上、共同福利の増進、会社の社会的責任の完遂を図るために定期的に開催されています。

## 人事に関する意識調査

「人事に関する意識調査」は、人事制度や業務に関する社員の考えを知り、働きやすい環境を整えることを目的として、定期的に実施しています。2005年からこれまでに5回、直近では2019年に実施しました。調査結果は社内報などを通じて全社に公開されると同時に、新たな人事施策の策定、実施につなげています。

## 障がい者雇用

当社では、障がい者雇用も積極的に進めており、2020年3月31日現在で法定雇用数を満たしております。現在、約27名の社員がそれぞれの部署で生き生きと活躍しています。

## 労働安全衛生

社員の安全、安心、信頼の労働環境を確保するために、環境基本法、労働安全衛生法、その他関係法令ならびに自社就業規則の遵守はもちろんのこと、環境安全防災委員会を中心に安全衛生の取り組みを実施しています。

本社、工場、研究所では、事業所の安全衛生部会が中心となり、新入社員への安全教育、定期的な職場パトロールや、作業環境測定による職場環境の維持、普通救命講習の実施、社内報・ポスター掲示による安全意識の啓発などの安全衛生への取り組みを行っています。安全衛生部会の議事録は社内イントラネット上に掲載され、社員全員に周知しています。

当社の労働災害の発生状況の推移は下記の表のとおりです。2019年度は7件発生し、内訳は転倒が3件、打撲が2件、創傷及びその他がそれぞれ1件でした。

また、MR職への交通事故防止教育については、入社時での実技中心による講習はもちろんのこと、その後も定期的な教育・啓発を実施し、特に複数回の事故経験者に対しては自動車教習所などの専門センターにて個別教育を実施する等、交通事故防止に努めています。

## 労働災害の発生状況の推移

|                      | 2015     | 2016     | 2017     | 2018     | 2019     |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 労働災害件数<br>(うち休業災害件数) | 3<br>(1) | 5<br>(0) | 2<br>(2) | 7<br>(2) | 7<br>(1) |
| 度数率※1                | 0.31     | 0.00     | 0.65     | 0.65     | 0.34     |
| 強度率※2                | 0.00     | 0.00     | 0.01     | 0.00     | 0.01     |

※1 100万労働時間あたりに発生する休業1日以上の死傷者数

※2 1000労働時間あたりに傷害のために失われる労働損失日数



新人安全防災教育



新人MR交通事故防止教育  
(2019年度実施)

### ヤングドライバークラブの取り組み

長野県安全運転管理者協会では、県内企業の交通安全への取り組みを評価する「ヤングドライバークラブ交通事故防止コンクール」を実施しています。

当社のヤングドライバークラブは、コンクールの運動実施期間において、無事故・無違反であるとともに、交通安全活動への積極的な取り組みが評価され、2004年の結成以来、16年連続して最優秀賞を受賞しました。

今後も「思いやり・譲り合い」を合言葉に全社的に交通安全活動に取り組んでまいります。



ヤングドライバークラブ表彰式(2019年度実施)

### 普通救命講習

当社では消防局職員による指導のもと、定期的に普通救命講習を実施しています。心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使用法等、正しい知識とスキルを学ぶことで、多くの社員が緊急時に冷静かつ迅速に救命活動を行えるよう、今後も継続して取り組んでまいります。

AEDは各事業所に設置しており、社員だけでなく、近隣住民の方にもお使いいただけます。



AEDの訓練(2019年度実施)

### キッセイ薬品BCP

2011年に発生した東日本大震災及び松本地方の地震によって、当社においても事業継続の必要性が再認識されたことによりBCP検討委員会を設置し、大規模災害(震度6以上の大地震)を想定した「キッセイ薬品BCP松本平大規模災害編及び東京地区大規模災害編」を制定しました。

BCPマニュアルに従って、社員の安否確認を行うとともに、主力医療用医薬品及びヘルスケア食品の生産・供給、重要な研究データの保全、くすり相談センターの業務を継続させることを目的としております。

### 安否確認システム

地震だけでなく、近年多発している大雨や台風等の自然災害に備え、社員と会社との連絡手段として「安否確認サービス(e-革新:セコムトラストシステムズ(株)提供)」を導入しています。

震度5強以上の地震発生時には自動で、その他の災害発生時には手動により災害エリアの社員に安否確認メールが送信されます。このメールに社員自らの安否、出社可否、家族の状況、家屋の状態などを登録することにより、社員とその家族の状況を把握することができます。

### 総合訓練

予期せぬ事態に備え、各事業所ではそれぞれ定期的に総合訓練を実施しており、毎年、本社・松本工場では火災が発生したという想定のもとに総合訓練を実施しています。

訓練では、本社・松本工場勤務の全員による避難訓練、自衛消防組織による初期消火・応急救護訓練を行い、日頃から非常時に備えています。



総合訓練(2019年度実施)



## 社員の健康維持

### ①健康診断

社員の健康維持のため、健康診断を年1回実施しています。健診の検査項目は35歳以上の社員には生活習慣病予防健診、40歳以上では腹部エコー検査を追加し、また50歳以上には前立腺がん検査や骨密度検査を追加するなど、幅広い検査を提供し、社員の健康維持に役立てています。また、女性社員には婦人科がん検診の受診を勧奨し、検査費用の補助を行っています。

健診結果のフォローも行っており、特定保健指導や再検査の受診勧奨など、社員の健康管理の推進を図っています。社内の健康相談室には保健師が常駐し、健康相談を行っています。また、保健師は定期的に事業所を訪問し、健診結果のフォローや保健指導、メンタルヘルス相談などの健康相談を実施しています。新型コロナウイルス予防のためオンラインでの健康相談も始めました。



社員健康相談

### ②社員の健康増進・リフレッシュ

塩尻工場にぶら下がり健康器を設置しました。

ぶら下がることで、長時間同じ姿勢でいたことからくる背中や肩の凝りを解消し、また、自重負荷による筋力アップも期待できます。



ぶら下がり健康器

松本本社構内にはウォーキングコースを設け、社内掲示板で紹介しています。5分～10分程度のコースとなっており、昼休みのウォーキングに最適です。体を動かすことで心身をリフレッシュします。

### ③外部の専門機関への電話による健康相談

#### 一笑顔でヘルシーダイヤラー

病気の悩み、育児の不安、身体の不調、不意の事故、薬の疑問、メンタルヘルス、お年寄りのケア、医療・福祉機関の情報など、健康について困った時や知りたい時は、外部の専門機関への電話による健康相談ができるようになっていきます。

### ④Webによる健康相談、健康情報提供

健康保険組合ではWeb上で健康相談、健康セルフチェック、健康まめ知識などの情報提供を行っています。



Web上での健康情報提供

### ⑤メンタルヘルスへの取り組み

当社では健康相談体制の充実のほか、健康保険組合や人事部からの積極的な情報提供、新任管理職等を対象としたメンタルヘルス研修を実施しています。

長時間労働者に対しては、事業場内産業保健スタッフ等による健康相談を実施しています。

また、社員のストレスの程度を把握し、社員自身のストレスへの気づきを促すとともに、職場環境の改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることによって社員がメンタルヘルス不調になることを未然に防止することを目的として、全事業場を対象に年1回ストレスチェックを実施しています。なお、2019年度の受検率は95.2%でした。

#### ーその他メンタルヘルスを意識した活動ー

- ・毎週水曜日、給与・賞与支給日にノー残業デーを設定
- ・年次有給休暇の計画的付与として、一斉有給休暇日を2日間設定(2019年度)
- ・職場の人間関係の円滑化を図るため、職場での行事に会社が費用面で支援
- ・各種クラブ・同好会の設置及び会社が費用面で支援



## ⑥健康経営の取り組み

## 「キッセイ薬品健康宣言」の制定

当社は、「純良医薬品を通じて社会に貢献する」ことを経営理念に掲げ、行動憲章においても「世界の人々の健康及び医療の向上に貢献する」ことを謳っています。これら経営理念、行動憲章の実現のために、まず社員一人ひとりが、こころとからだの両面において健康でなければならないという考えから、2017年4月に「キッセイ薬品健康宣言」を制定しました。

## キッセイ薬品健康宣言

2017年4月1日制定

『私たちは、医薬品をはじめとする、優れた製品を開発し提供することにより、世界の人々の健康及び医療の向上に貢献します。』（キッセイ薬品行動憲章より）

そのためには、まず社員一人ひとりが、こころとからだの両面において健康でなければなりません。

キッセイ薬品は、社員及びその家族の健康保持、増進に努めるとともに、社員一人ひとりが、「生きがい」や「働きがい」を感じながら、その能力を十分に発揮できる、健康的で活力のある職場風土を醸成します。

1. 会社及び健康保険組合は、社員の健康問題を経営上の重要課題として認識し、社員のこころとからだの健康保持、増進に向けた環境整備と機会提供に努め、健康で働きやすい職場づくりを推進し、社員の会社生活と個人生活との調和（ワークライフバランス）に積極的に取り組みます。
2. 社員は、「自分の健康は自分で管理する」というセルフケアの重要性を認識し、こころとからだの健康づくりのために、自己の健康保持、増進に積極的に取り組みます。

## 健康経営優良法人2020(大規模法人部門)認定取得

近年、社員の健康維持・増進への取り組みが社員の満足感を高め、組織の生産性向上に寄与するという考えのもと、社員の健康管理を経営戦略の一環として取り組むことの重要性が高まっています。

「純良医薬品を通じて社会に貢献する」という当社創立以来の経営理念を実現すべく、キッセイ健康保険組合と緊密に連携を取りながら、社員及びその家族の健康保持、増進に努めるとともに、社員一人ひとりが、「生きがい」や「働きがい」を感じながら、その能力を十分に発揮できる、健康的で活力のある職場風土づくりを目指し、健康経営に取り組んでいます。

その取り組みが評価され、2020年3月、「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定されました。

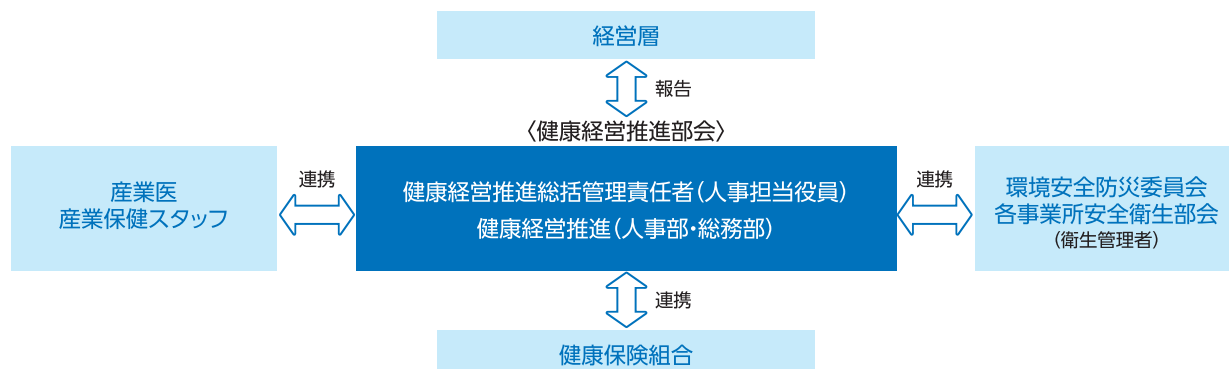


## 《健康経営の主な取り組み》

- ・キッセイ薬品健康宣言の制定
- ・キッセイ健康保険組合と連携し、法定を上回る検査項目の提供や、がん検診等の検査費用を補助
- ・50人未満の事業場を含めた全事業場を対象としたストレスチェックの実施
- ・産業医のほか、外部委託等によるメンタルヘルス相談体制の整備
- ・ノー残業デーの実施(毎週水曜、毎月の給与支給日、年2回の賞与支給日)
- ・社員食堂におけるヘルシーメニューの提供
- ・運動習慣の定着に向けた職場での体操(ラジオ体操)の実施や、職場単位で行う健康・体力づくりを目的としたスポーツイベントの開催や費用の補助など

## &lt;健康経営推進体制&gt;

人事担当役員を健康経営推進の総括管理責任者とし、更に施策の立案、実行、効果及び検証を推進するため「健康経営推進部会」を設置しています。



## ワークライフバランスの推進

当社では、年次有給休暇の取得を促進するために年2日間の全社一斉有給休暇取得、年3日間のメモリアル休暇制度(計画的に取得する有給休暇制度)を設定しています。

また、時間外労働削減に向けて、本社・研究所などでは毎週水曜日及び給賞与支給日をノー残業デーとし、支店・営業所では内勤日及び給賞与支給日を定時退社推進デーとして、業務を効率化することで時間外労働を削減するなど、ワークライフバランスの推進に継続的に取り組んでいます。

## 次世代育成への取り組み

当社は、社員が仕事と子育てをはじめとする家庭生活を両立させることができ、社員全員にとって働きやすい環境をつくることによって、全ての社員がその能力を十分に発揮できるような雇用環境の整備に取り組んでいます。

このような取り組みが評価され、2008年、2011年、及び2015年に次世代育成支援対策推進法<sup>\*</sup>に基づく基準適合一般事業主認定(通称「くるみん」)を取得しました。

さらに2017年には、より高い水準での取り組みが評価され、優良な子育てサポート企業として特例認定(プラチナくるみん)を取得しました。

**※次世代育成支援対策推進法**：次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を行う「次世代育成支援対策」を国や地方公共団体・企業が一体となって進めるために制定された法律



プラチナくるみん認定通知書



## 一次世代支援に関する当社の主な取り組み

| 行動計画 | 行動期間                      | 主な取り組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1期  | 2005年4月1日～<br>2008年9月30日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性社員の育児休業取得率向上</li> <li>・育児短時間勤務制度の対象を、小学校就学未満までに拡大</li> <li>・男性社員では初となる2名が育児休業を取得</li> </ul>                                                                                                                                                                                               |
| 第2期  | 2008年10月1日～<br>2011年3月31日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性社員4名が育児休業を取得</li> <li>・配偶者出産時の休暇や男性の育児休業取得に関する情報を提供</li> <li>・子の看護休暇制度及び育児短時間勤務制度について法を上回る改正を実施</li> <li>・松本本社にて「子ども参観日」を実施</li> </ul>                                                                                                                                                    |
| 第3期  | 2011年4月1日～<br>2015年3月31日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の育児休業取得促進(男性社員の延べ7名が育児休業を取得)</li> <li>・ワークライフバランス施策に関する情報配信及び社内研修等での周知、意見交換会、アンケートなどの実施</li> <li>・時間外労働に関する適正運用の推進</li> <li>・中央研究所にて「子ども参観日」を実施</li> </ul>                                                                                                                                |
| 第4期  | 2015年4月1日～<br>2017年3月31日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中や出産後の女性労働者に対する諸制度の周知や情報の提供</li> <li>・男性社員13名が育児休業を取得</li> <li>・配偶者出産時の慶事休暇付与日数の改定と休暇取得の促進</li> <li>・管理職研修において、女性社員の育成や、働きながら子育てを行う女性社員が就業を継続し活躍できるようにするために必要な働き方等を考える研修の実施</li> <li>・時間外労働削減への取り組み推進、目標削減率の達成</li> <li>・有給休暇取得促進への取り組み推進、目標取得率の達成</li> <li>・塩尻工場にて「子ども参観日」を実施</li> </ul> |

### プラチナくるみん取得 2017年5月

|                          |                                                                                                                         |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2017年4月1日～<br>2018年3月31日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性社員14名が育児休業を取得</li> <li>・時間外労働削減への取り組み推進</li> <li>・有給休暇取得促進への取り組み推進</li> </ul> |
| 2018年4月1日～<br>2019年3月31日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性社員21名が育児休業を取得</li> <li>・時間外労働削減への取り組み推進</li> <li>・有給休暇取得促進への取り組み推進</li> </ul> |
| 2019年4月1日～<br>2020年3月31日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性社員30名が育児休業を取得</li> <li>・時間外労働削減への取り組み推進</li> <li>・有給休暇取得促進への取り組み推進</li> </ul> |

## 女性の職業生活における活躍推進への取り組み

当社は、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」に基づく一般事業主行動計画を策定し、女性社員がその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍ができるよう、さらなる基盤整備に取り組んでいきます。

### －女性活躍に関する当社の主な目標－

#### ＜一般事業主行動計画の内容＞

1) 計画期間 2020年4月1日～2023年3月31日

2) 目標

- ・採用者に占める女性割合を増やす
- ・「人事に関する意識調査」において、女性社員における全36項目の平均満足度を3.0ポイント(ほぼ満足)以上にする
- ・全コース区分において、男性社員の平均勤続年数に対する女性社員の平均勤続年数の割合70%以上を維持する

3) 取り組み内容・実施時期

| 実施期間     | 取り組み内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2020年4月～ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が活躍できる職場であることについて、応募者に対して積極的に広報することにより、女性の応募者数を増やす。</li> <li>・「人事に関する意識調査」の結果を分析し、分析結果に基づく人事施策を検討する。</li> <li>・社員及び管理職に対して育児休業制度に関する積極的な情報提供を行うことにより、仕事と家庭の両立支援を推進する。</li> <li>・子の誕生した男性社員及びその所属長に対して育児休業取得を奨励し、男性社員の育児休業取得率向上を図る。</li> <li>・育児休業から復職する女性MR職における短時間勤務制度の利用促進を図る。</li> <li>・メモリアル休暇の100%取得を目指して、社員・職場の意識啓発を推進する。</li> <li>・自発的なキャリア開発を促進するために、昇格者等を対象とした「能力・キャリア開発面接」を実施する。</li> </ul> |



### 社員の声

## 育児休業を取得して

生産本部 塩尻工場 製造管理課 製造管理係

平 間 強

第一子出生後、人事課担当者から所属長と私に育児休暇取得の案内があり、八か月後に短期育児休暇を取得いたしました。短期育児休暇は出生後一年以内に連続一週間であれば、有給として取得できる制度です。

育児休業期間中は、新型コロナウイルス感染症の流行が始まったばかりであり、ステイホームで育児休業を過ごしました。できることは限られていましたが、食事の準備や掃除、洗濯、育児を行い、普段ゆっくりできない妻にリフレッシュしてもらうことができました。育児をしながら家事をこなすということだけでも大変に感じましたが、育児休暇を取得している妻は、毎日これを行っていることに頭が下がるばかりです。また、私自身も親に苦勞をかけながら育ててもらったありがたみを、親となったばかりですが、改めて感じました。

夫婦共働き世帯が増えている今、我が家も今後は夫婦共働きとなり、仕事と育児の両立をしていかなければなりません。妻ばかりに任せることなく、男性も育児休業や育児を行う時間を設け、積極的に育児を行うことで妻の負担軽減に努めなければいけないと思いました。

少子高齢化社会が加速している今、社会が仕事と育児の両立をしやすい環境へと進み、企業としても育児をしやすい組織風土へとさらに向うことを願っています。





# 環境保全活動について

## [全社の環境保全活動] キッセイ薬品環境基本方針

当社は、全ての企業活動において環境への負荷低減と環境の保全に努めています。

当社の経営理念に基づき、行動憲章(2005年4月改定)において「環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存続と活動に必須の要件であることを認識して、自主的、積極的に取り組みます」と定めています。

それを受けて、環境基本方針では、基本理念と6項目の基本方針を定めています。

これからも、この環境基本方針に基づき、積極的かつ継続的な環境保全活動への取り組みを推進します。

### 環境基本方針

平成16年4月1日 改訂

#### 1 基本理念

キッセイ薬品は明日の健康を見つめる創薬研究開発型企業として、企業の社会的責任において積極的に地球環境保全に努めるとともに、豊かで住み良い社会の実現に貢献します。

#### 2 基本方針

- (1) 製品の研究、開発、生産、流通、販売、使用、廃棄など一連の企業活動が環境に与えるさまざまな影響を評価し、環境への負荷低減の活動を推進します。
- (2) 地球環境保全の取り組みのため、環境目的、目標を定め実行し、定期的な見直しを行ない継続的改善を図ります。
- (3) 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクルを積極的に推進することにより環境負荷の低減に努力し、汚染の予防に努めます。
- (4) 関連する環境法規、協定及び当社が同意したその他の要求事項について遵守するとともに、自主基準を設定し更なる環境保全に取り組みます。
- (5) 社員一人ひとりが、環境教育を通じて環境に対する意識の高揚と倫理観の向上を図り、積極的に環境汚染の未然防止のための活動を推進します。
- (6) 当社は地球環境問題を真摯に受止め、キッセイグループとともに環境保全に努めます。

# 環境マネジメントシステム

## 環境マネジメントシステム組織

当社の環境マネジメントは、ISO14001環境マネジメントシステムを基本にして推進しています。環境マネジメントシステム組織は右図の様に、総括環境管理責任者として倫理・環境担当役員を設けて全社の環境マネジメントの維持・管理、運営を行い、また、各事業所に環境管理責任者を設けて事業所毎に環境マネジメントシステムの維持・管理、運営を行っています。各事業所では環境部会が中心になり、環境目的・目標等の立案、設定、実施、見直しを図り、環境保全活動を推進しています。

各事業所は2000年から2007年にかけてISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得しました。その後、2018年9月には、ISO新規格である2015年版へ移行し、今後も全社的に環境へ配慮した活動を推進します。

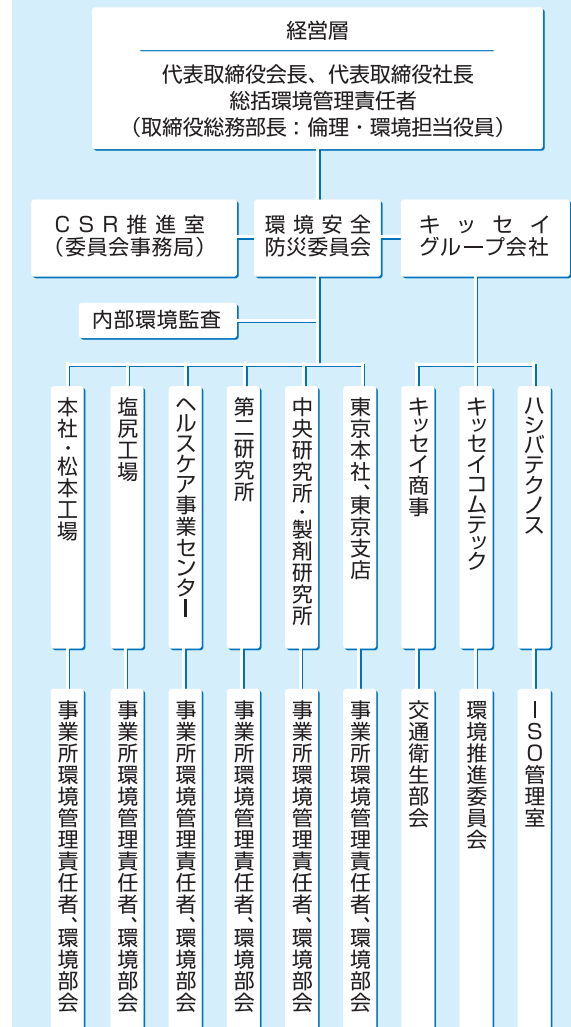
また、キッセイグループであるキッセイコムテック(株)、ハシバテクノス(株)においてもISO14001環境マネジメントシステムを取得しており、各社で環境保全活動を推進する体制を整えて、システムの維持・管理、運営を行っています。

## ISO14001の認証取得状況

| キッセイ薬品        | 取 得     | 2015年版移行 |
|---------------|---------|----------|
| 本社・松本工場       | 2000年9月 | 2018年9月  |
| 塩尻工場          | 2000年9月 | 2018年9月  |
| ヘルスケア事業センター   | 2000年9月 | 2018年9月  |
| 第二研究所         | 2006年9月 | 2018年9月  |
| 東京本社(日本橋、小石川) | 2006年9月 | 2018年9月  |
| 中央研究所         | 2007年9月 | 2018年9月  |

| グループ会社            | 取 得     | 2015年版移行 |
|-------------------|---------|----------|
| キッセイコムテック株式会社     | 2002年6月 | 2017年11月 |
| ハシバテクノス株式会社       |         |          |
| 本社                | 2002年2月 | 2018年2月  |
| 施設管理本部(キッセイ薬品と共通) | 2000年9月 | 2018年9月  |

## 環境マネジメントシステム組織図



ISO14001認証証書



ISO14001付属書

## 環境保全に関する総合計画と実績

環境基本方針を具体化するため、環境目的・目標を設定して活動しています。

2019年度の全社の環境目的・目標及び活動実績、2020年度の全社の環境目的・目標は下記のとおりです。

| 環境目的                         | 2019年度目標                                                                                    | 2019年度実績                                                                               | 2020年度目標                                                                                                        |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エネルギーの使用量を削減する               | ・電気、重油、ガス等の原油換算エネルギー使用量を原単位で前年度比1%削減する(全社)。                                                 | ・エネルギー使用量は原油換算で前年度より232kL(2.7%)減少した。各事業所の使用エネルギーをグラフ化しエネルギーの使用状況等を把握管理した。              | ・電気、重油、ガス等の原油換算エネルギー使用量を原単位で前年度比1%削減する(全社)。                                                                     |
| 二酸化炭素の排出量を削減する               | ・車両利用、エネルギー使用による二酸化炭素排出量を原単位で前年度比1%削減する。<br>・フロン機器の管理を適正に行いフロン類の漏えいを防ぐ。                     | ・車両利用、エネルギー使用による二酸化炭素排出量は前年度比4%削減した。 <sup>※1</sup><br>・フロン機器の管理を適正に行いフロン類の漏えいは見られなかった。 | ・車両利用、エネルギー使用による二酸化炭素排出量を前年度比1%削減をする。<br>・フロン機器の管理を適正に行いフロン類の漏えいを防ぐ。                                            |
| 資源の使用量を削減する                  | ・原材料、原資材、業務用資材(紙等)等の使用量を削減する。<br>・事務用品のグリーン購入を推進する。                                         | ・原材料、原資材、業務用資材(紙等)等の使用量を削減した。<br>・事務用品のグリーン購入を優先的に実施した。                                | ・原材料、原資材、業務用資材(紙等)等の使用量を削減する。<br>・事務用品のグリーン購入を推進する。                                                             |
| 廃棄物量を削減する                    | ・3R(Reduce, Reuse, Recycle)を推進し、廃棄物の最終処分率(最終処分量/廃棄物発生量)を3%以下にする。<br>・分別回収による3R活動を意識化する。     | ・最終処分量は11トンで、最終処分率(最終処分量/廃棄物発生量)は3%であった。                                               | ・産業廃棄物の最終処分率(最終処分量/廃棄物発生量)を3%以下にする。                                                                             |
| 化学物質を適切に管理する                 | ・化学物質の管理組織や試薬管理システム等を通して化学物質管理を推進する。<br>・有害化学物質(PRTR <sup>※2</sup> 対象物質、VOC規制物質等)の使用量を削減する。 | ・化学物質の管理組織や試薬管理システム取り扱いに関する教育等を通して化学物質管理を推進した。<br>・PRTR対象物質は昨年と同程度の使用であった。             | ・管理組織や試薬管理システム等を通して化学物質の数量管理を行う。<br>・化学物質及び廃棄物が飛散・漏えいしないように適切な手順にて取り扱う。<br>・有害化学物質(PRTR対象物質、VOC規制物質等)の使用量を削減する。 |
| 社会貢献活動に参加する                  | ・地域環境整備活動または社会貢献活動に年2回以上参加する。                                                               | ・事業所周辺の清掃活動等の地域環境整備活動を実施した。<br>・学生を中心に研究所、工場への見学を受け入れた。                                | ・地域環境整備活動または社会貢献活動に年2回以上参加する。                                                                                   |
| 環境教育及び啓発活動を実施する              | ・環境教育及び環境啓発活動を実施する。                                                                         | ・各事業所における環境教育及び環境掲示板を通して、啓発活動を行った。                                                     | ・環境教育及び環境啓発活動を実施する。                                                                                             |
| 当社の環境への取り組みをステークホルダーに理解してもらう | ・CSR報告書の発行や環境関連調査の回答等により環境情報を公開する。                                                          | ・CSR報告書の発行や環境関連調査の回答等により環境情報を公開した。                                                     | ・CSR報告書の発行や環境関連調査の回答等により環境情報を公開する。                                                                              |

※1 ガソリン1LでのCO<sub>2</sub>発生量=約2.32kg、10km走行と仮定

※2 PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)：化学物質排出移動量届出制度



## 環境監査

### ISO14001外部監査

2019年度は外部認証機関によるISO14001の維持審査(2015年版)を受けました。その結果、改善の機会5件の観察点がありました。観察点は今後の環境マネジメントシステムの改善につなげていきます。

その他、重大な指摘はなく、当社の環境マネジメントシステムが適切に維持管理されていることが確認されました。



ISO14001維持審査(2019年度実施)

## 環境に関する啓発活動及び教育・研修

### 啓発活動

当社は、環境基本方針に則って環境に関する啓発・教育・研修を実施しています。部門責任者、グループ会社責任者を対象とした会議等を機会として環境に対する基本方針を説明し、組織に浸透させています。

CSR推進室では、社内報や社内イントラネットを通じて当社の環境目的及び目標を伝達し、全社員の環境に対する意識を高めています。また、外部審査の観察点をマネジメントシステムの改善につなげ、今後も環境負荷低減に向けた活動意識を高めていきます。

当社は、地球温暖化対策の一つとして、クールビズ、ウォームビズを実施しています。夏季には暑さをしのぎやすいノーネクタイで、冬季にはベストやカーディガン等の着用で業務が行えるようにしています。



クールビズ実施のご案内

### 内部環境監査

ISO14001認証取得事業所では、環境マネジメントシステムの適切な維持・管理を確認するために、年1回、内部環境監査員による内部環境監査を実施しています。2019年度の結果は、軽欠点が3件、改善提案が11件報告されました。

内部環境監査結果は、環境マネジメントシステムの改善、見直しの資料として、経営層へ報告しています。内部環境監査が適合性の確認だけでなく、目標に向けた取り組み(有効性)について監査できるように活性化を図ります。



内部環境監査(2019年度実施)

### 教育・研修

新入社員に対しては、入社時の教育の際に、環境、労働安全衛生、防災に関する教育を実施しています。

また、各事業所並びに各部門では、業務内容に則して独自の環境目的及び目標を設定し、その達成のために、継続的に環境教育を実施しています。

環境マネジメントシステムを適切に維持管理する上で、内部監査は重要な役割を果たします。そのため、内部環境監査員の定期的な教育や育成のための外部研修機関による研修を実施しています。

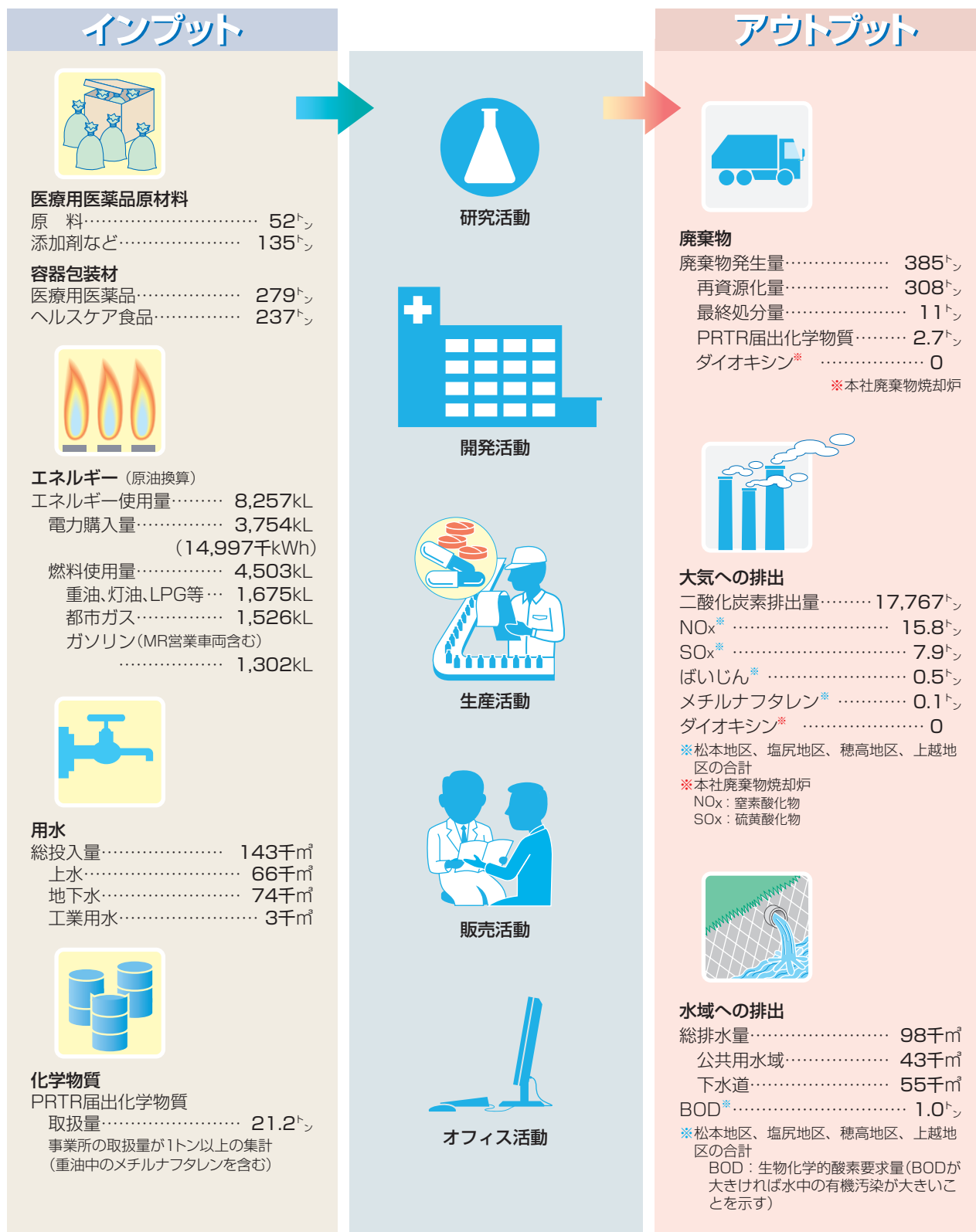


新入社員教育(2019年度実施)

## キッセイ薬品と環境との関わり

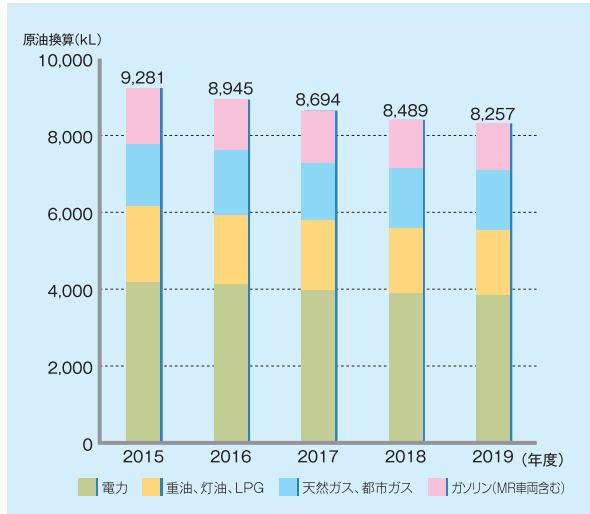
当社の2019年度の資源投入量(インプット)と研究、開発、生産、販売などの各プロセスにおいて発生する排出量と廃棄物量(アウトプット)を以下の図に示します。

これらの環境データを把握して、環境負荷低減に取り組んでいます。



## 環境保全活動の実績

### エネルギー使用量の推移



2019年度のエネルギー使用量は8,257kL(原油換算)で前年度より232kL(2.7%)減少しました。これは、製造設備や空調機器の稼働時間の継続的な見直しを行ったためです。

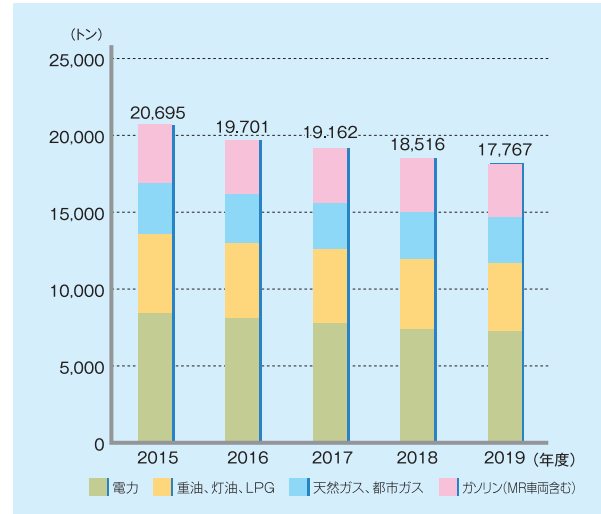
エネルギー管理標準に従ってエネルギー使用量の管理を行うとともに、運用改善を検討してエネルギー使用の合理化に取り組んでいます。

また、常用発電施設(CGS)の更新により、電力使用量のピークカットに取り組んでいます。

### 種類別エネルギー使用量の推移(原油換算 kL)

| 年 度                | 2015  | 2016  | 2017  | 2018  | 2019  |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 電 力                | 4,206 | 4,127 | 3,996 | 3,884 | 3,754 |
| 重油、灯油、LPG等         | 1,927 | 1,819 | 1,803 | 1,684 | 1,675 |
| 都市ガス               | 1,694 | 1,652 | 1,540 | 1,580 | 1,526 |
| ガソリン<br>(MR営業車両含む) | 1,454 | 1,347 | 1,355 | 1,341 | 1,302 |
| 合 計                | 9,281 | 8,945 | 8,694 | 8,489 | 8,257 |

### 二酸化炭素排出量の推移



2019年度の二酸化炭素排出量は17,767トンで前年度より749トン(4%)減少しました。これは、製造設備や空調機器の稼働時間の見直しや、計画的な稼働に加え、CGSの稼働による使用エネルギーの効率化が寄与したものと考えます。

### 種類別二酸化炭素排出量の推移(トン)

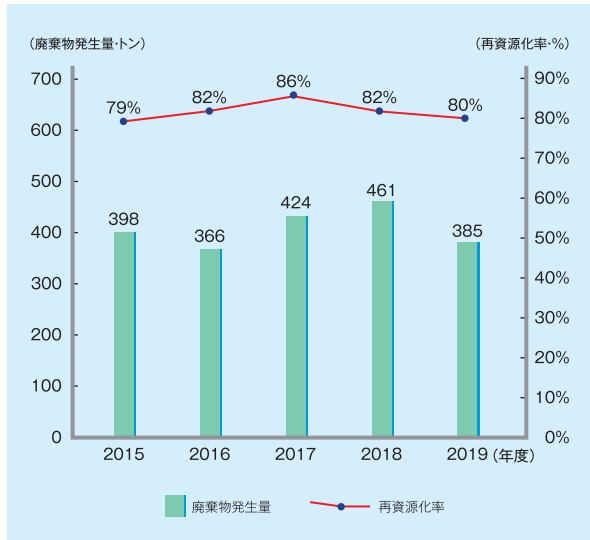
| 年 度                | 2015   | 2016   | 2017   | 2018   | 2019   |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 電 力                | 8,468  | 8,125  | 7,824  | 7,455  | 6,936  |
| 重油、灯油、LPG等         | 5,170  | 4,880  | 4,837  | 4,519  | 4,495  |
| 都市ガス               | 3,275  | 3,193  | 2,977  | 3,054  | 2,949  |
| ガソリン<br>(MR営業車両含む) | 3,782  | 3,503  | 3,524  | 3,488  | 3,387  |
| 合 計                | 20,695 | 19,701 | 19,162 | 18,516 | 17,767 |



本格稼働した常用発電施設 (CGS)



## 廃棄物発生量／再資源化率の推移



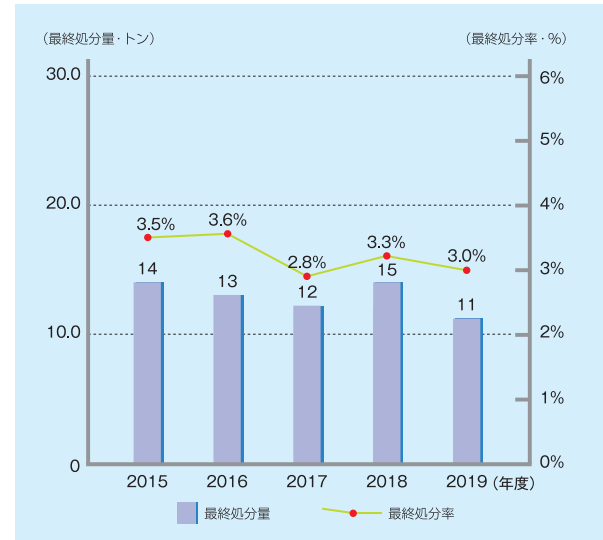
2019年度の廃棄物の発生量は385トンで前年度より76トン(16.5%)減少しました。

2019年度の再資源化率は80%で、前年度より2ポイント下降しました。廃棄物の分別を徹底して行い、リサイクル可能なものは再生利用を推進しました。製品収率の向上やペーパーレス化に引きつづき努めてまいります。

2019年度の最終処分量は11トン、最終処分率は3% (最終処分量<sup>\*</sup>/廃棄物発生量)でした。

<sup>\*</sup>最終処分量 = 直接埋立量 + 中間処分残渣量(焼却残渣、焼却外残渣)

## 最終処分量／最終処分率の推移



| 年 度             | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|-----------------|------|------|------|------|------|
| 廃棄物発生量<br>トン(A) | 398  | 366  | 424  | 461  | 385  |
| 再資源化量<br>トン(B)  | 315  | 300  | 365  | 376  | 308  |
| 再資源化率<br>(B/A)  | 79%  | 82%  | 86%  | 82%  | 80%  |
| 最終処分量<br>トン(C)  | 14   | 13   | 12   | 15   | 11   |
| 最終処分率<br>(C/A)  | 3.5% | 3.6% | 2.8% | 3.3% | 3.0% |

## グリーン購入

当社は、文具・事務用品は購買システムにより、環境への負荷が少ないグリーン商品を優先し購入しています。



グリーン商品1



グリーン商品2

## 化学物質管理

### PRTR(Pollutant Release and Transfer Register : 化学物質排出移動量届出制度)

| 特定化学物質名<br>(単位)                   | 2018年度<br>対象事業所<br>取扱量 | 2019年度<br>対象事業所<br>取扱量 | 2019年度<br>排出量 |     |     |
|-----------------------------------|------------------------|------------------------|---------------|-----|-----|
|                                   |                        |                        | 排出量           | 移動量 |     |
|                                   |                        |                        | 大気            | 水質  | 廃棄物 |
| ノルマルヘキサン<br>(トン)                  | 1.9                    | 1.5                    | 0             | 0   | 1.5 |
| アセトニトリル(トン)                       | 1.2                    | 1.2                    | 0             | 0   | 1.2 |
| メチルナフタレン <sup>※1</sup><br>(トン)    | 18.2                   | 18.5                   | 0.093         | 0   | 0   |
| ダイオキシン類 <sup>※2</sup><br>(mg-TEQ) | 0.005                  | 0                      | 0             | 0   | 0   |

事業所の取扱量が1トン以上の化学物質

※1：ボイラーの燃料の重油に含まれる

※2：本社廃棄物焼却炉は2018年休止

各研究所では化学物質の適正使用、管理に努めております。2019年度のPRTR法指定化合物で年間取扱量が1トンを超えた物質は、ノルマルヘキサン、アセトニトリル、メチルナフタレンでした。メチルナフタレンは、重油の使用によるものです。

ノルマルヘキサン等の有機溶媒は冷却トラップを装着して可能な限り回収を行い、大気中への拡散を防いでいます。

アセトニトリルは液体クロマトグラフィーの展開溶剤として使用していますが、全量を回収し廃棄処理を専門業者に委託しております。

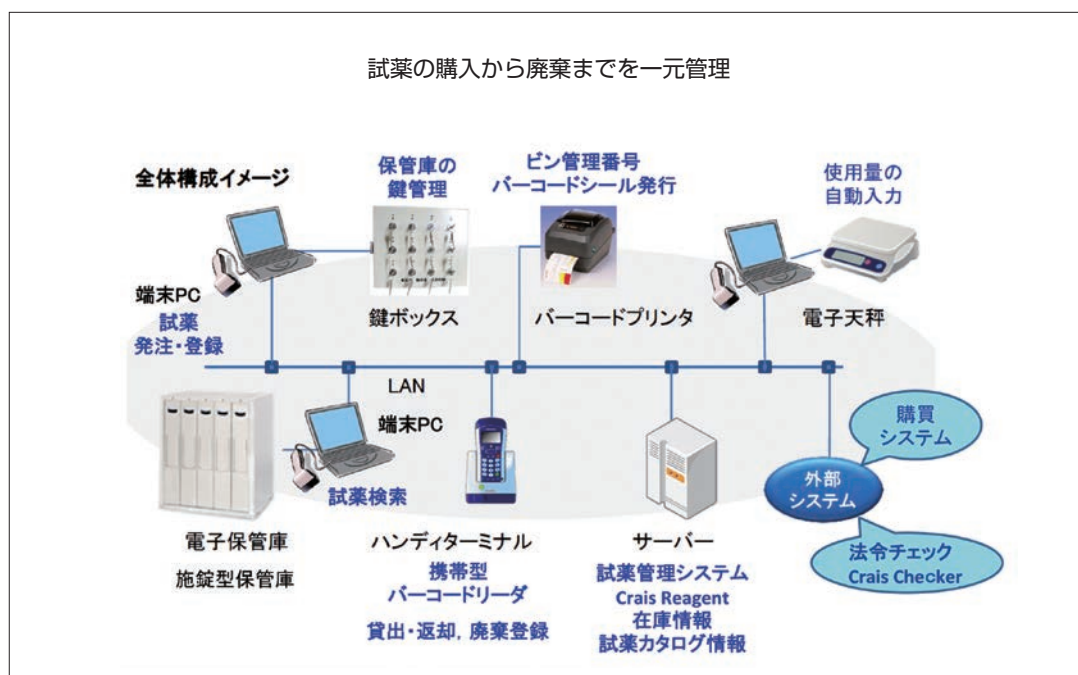
研究所で使用している試薬類は、購入から保管、廃棄までを一元管理し、全ての在庫を効率的に把握できる試薬管理システムを利用しています。

このシステムは法規制対応、化学物質リスクアセスメントに活用しています。



冷却トラップ

### 試薬管理システム



試薬管理システムのネットワーク(パトコア(株)制作資料を改編)

## 省エネルギー推進、地球温暖化対策体制

当社は、省エネ法の特定事業者指定されています。また、本社・松本工場と中央研究所は第二種エネルギー管理指定工場です。

合理的なエネルギーの使用を推進するため、エネルギー管理規程、エネルギー管理標準を整備し、環境安全防災委員会が中心となって省エネルギー活動に取り組んでいます。

本社・松本工場、塩尻工場、中央研究所、上越化学研究所ではBEMS※を導入して、エネルギー使用量を把握し、エネルギー消費におけるロス、ムダの削減に取り組んでいます。

また、当社の省エネルギー活動はコンサルティング会社と協働で進めています。BEMSに蓄積された電気

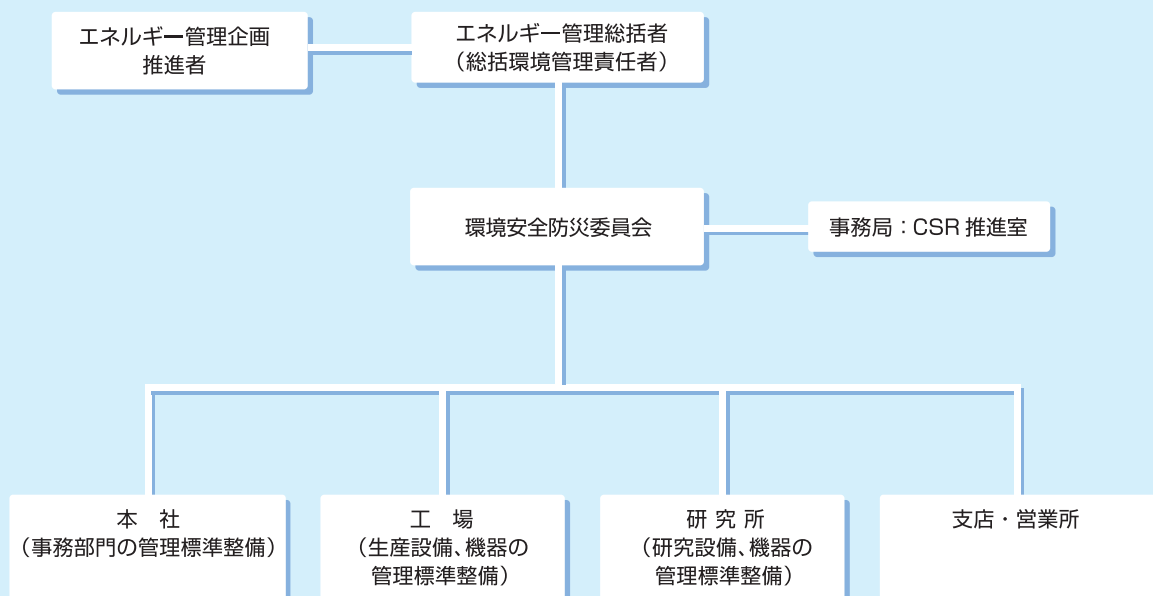
や空調などの運用データはコンサルティング会社によって解析され、それをベースにした総合的な観点で設備の運用改善等の省エネルギー施策を進めています。

省エネルギー活動の推進は、二酸化炭素排出量の抑制にもつながります。当社は、コンサルティング会社のエネルギー管理システムを活用して、各事業所のエネルギー使用量や二酸化炭素排出量の見える化を行い、エネルギー使用量や二酸化炭素排出量の削減の啓発を行っています。

※BEMS : Building and Energy Management System

建物の使用エネルギーや室内環境を把握し、これを省エネルギーに役立てるためのシステム

### 省エネルギー推進、地球温暖化対策体制組織





## 環境会計

事業活動における環境保全コストの把握のため、2004年度から環境会計を導入しています。

今後も環境会計に取り組み、より効率的な環境経営を目指します。

対 象 期 間：2019年4月1日～2020年3月31日

集 計 の 範 囲：当社の全事業所

集 計 方 法：環境省の「環境会計ガイドライン2005年度版」を参考

投資額及び費用額：投資額はその年度での環境関連設備投資額で、費用額は環境保全を目的とした発生額で、減価償却費は含まれていません。

### 環境保全コスト

(千円)

| 環境保全コストの分類    |            |                                                    | 投資額     | 費用額    |
|---------------|------------|----------------------------------------------------|---------|--------|
| 事業内<br>エリアコスト | ①公害防止コスト   | 大気汚染防止、水質汚濁防止等の維持管理                                | 21,661  | 7,526  |
|               | ②地球環境保全コスト | 省エネルギー対策、省エネルギー機器等                                 | 86,788  | 3,194  |
|               | ③資源循環コスト   | 廃棄物の減量化、リサイクル及び処理・処分費用等                            | 0       | 29,338 |
| 上・下流コスト       |            | 容器包装再商品化委託料等                                       | 0       | 13,446 |
| 管理活動コスト       |            | ISO14001の維持管理、CSR報告書作成、事業所及び事業所周辺の緑化、美化、環境管理活動人件費等 | 37,309  | 3,362  |
| 研究開発コスト       |            | —                                                  | 0       | 0      |
| 社会活動コスト       |            | 環境保全団体への協賛金等                                       | 0       | 128    |
| 環境損傷対応コスト     |            | —                                                  | 0       | 0      |
| 合 計           |            |                                                    | 145,758 | 56,994 |

### 環境保全効果

|                                                   | 2018年度                  | 2019年度                  | 増減率    |
|---------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------|--------|
| 二酸化炭素排出量 <sup>※1</sup>                            | 18,516 <sup>ト</sup>     | 17,767 <sup>ト</sup>     | -4%    |
| エネルギー使用量(原油換算値)                                   | 8,489kL                 | 8,257kL                 | -2.7%  |
| 電力購入量(昼間、夜間買電の合計)<br>(自家発電除く)                     | 3,884kL<br>(15,509千kWh) | 3,754kL<br>(14,997千kWh) | -3.3%  |
| 重油、灯油、LPG等使用量 <sup>※2</sup>                       | 1,684kL                 | 1,675kL                 | -0.5%  |
| 都市ガス使用量 <sup>※2</sup>                             | 1,580kL                 | 1,526kL                 | -3.4%  |
| ガソリン(MR営業車両含む) <sup>※2</sup>                      | 1,341kL                 | 1,302kL                 | -2.9%  |
| 水使用量                                              | 144千 <sup>m</sup>       | 143千 <sup>m</sup>       | -0.7%  |
| 排水量                                               | 106千 <sup>m</sup>       | 98千 <sup>m</sup>        | -7.5%  |
| 廃棄物発生量                                            | 461 <sup>ト</sup>        | 385 <sup>ト</sup>        | -16.5% |
| 再資源化量                                             | 376 <sup>ト</sup>        | 308 <sup>ト</sup>        | -18.1% |
| 廃棄物最終処分量<br>(最終処分量＝直接埋立量＋中間処分残渣量<br>(焼却残渣、焼却外残渣)) | 15 <sup>ト</sup>         | 11 <sup>ト</sup>         | -26.7% |

※1 電力の二酸化炭素排出係数は各年度の電気事業者別実排出係数を使用

※2 原油換算量

## [事業所の環境保全活動]

### 本社・松本工場

所在地：〒399-8710

長野県松本市芳野19番48号

#### 主たる活動

本社：本社機能

松本工場：医療用医薬品の製剤製造



本社本部棟

#### 環境関連法に関するデータ

| 大 気                   | ボイラー※1 |                | 自家発電機 |                |
|-----------------------|--------|----------------|-------|----------------|
|                       | 基準値    | 測定値            | 基準値   | 測定値            |
| NOx (㎎ / ㎡ N)         | 150    | 9-59           | 600   | 333-375        |
| SOx (㎎ N/hr)          | 0.82   | <0.0027-0.0071 | 0.461 | <0.0085-0.0086 |
| ばいじん (g / ㎡ N)        | 0.1    | <0.005         | 0.05  | <0.010         |
| ダイオキシン (ng-TEQ / ㎡ N) | —      | —              | —     | —              |

窒素酸化物は基準酸素で換算した後の値 ※1 ガスボイラー  
測定値は範囲を示す

#### 水 質(公共用水域)

| 項 目        | 基準値(条例) | 測定値      |
|------------|---------|----------|
| 排出量(㎡/年)   | —       | 37,762   |
| pH         | 5.8-8.6 | 7.3-7.8  |
| BOD (mg/L) | 30      | <0.5-1.4 |
| SS (mg/L)  | 50      | <1       |

排水：専用の処理施設を経て公共用水域、公共下水道に放流  
排水量以外の測定値は範囲を示す  
pH：水素イオン濃度、BOD：生物化学的酸素要求量、SS：浮遊物質

#### 水 質(公共下水道)

| 項 目        | 基準値(条例) | 測定値     |
|------------|---------|---------|
| 排出量(㎡/年)   | —       | 28,816  |
| pH         | 5.0-9.0 | 6.8-7.6 |
| BOD (mg/L) | 600     | <0.5-28 |
| SS (mg/L)  | 600     | <1-30   |

#### 廃棄物

| 廃棄物の発生量<br>(トン) | 再資源化量<br>(トン) | 再資源化率<br>(%) | 最終処分量<br>(トン) |
|-----------------|---------------|--------------|---------------|
| 123.4           | 103.7         | 84.0         | 3.7           |

最終処分量＝直接埋立量＋中間処分残渣量(焼却残渣、焼却外残渣)

#### 報 告

2019年度、松本工場ではユリーフAG製剤、ピートル顆粒剤の増産計画に確実に対応し、安定供給による市場からの信頼の確保に努めました。その他の重点戦略品目及び既存製品についても、事故、回収、欠品もなく高品質製剤の安定供給を継続しております。

その一方で、環境貢献に直結する様々な効率化についても取り組みを継続しました。

取り組み例として、

- ①自社製造品の試験検査実績を考慮した試験回数削減
- ②原料の試験検査実績や原料製造元の品質管理状態を確認した上での省略試験への移行
- ③ロット構成の見直しによる廃棄ロスの低減
- ④製造品の品質や設備稼働状況を考慮した連続ロット製造の拡大
- ⑤製造設備の運転スピード高速化

これらの取り組みにより、休日出勤を削減するなど働きやすい職場づくりを推進するとともに、廃棄物量及びエネルギー使用量の削減を通じて環境負荷低減にも寄与することができました。

設備面におきましては、コージェネレーションシステムを取り入れ、エネルギーを効率的に利用し、二酸化炭素発生量の削減を図っております。

これらは、環境マネジメントシステムの応用として取り入れ、責任者による目標の設定と達成状況の確認はもとより、定期的な教育訓練、環境美化運動等への参加などを通じた社員一人ひとりの環境・安全への意識向上を図っております。

今後も医薬品製造及び環境に係る法規制を遵守しながら更なる業務改善に努め、生産活動を通じた環境保全、社会貢献活動による企業の社会的責任を果たしてまいります。

## 塩尻工場

所在地：〒399-0711

長野県塩尻市片丘9637番地5

主たる活動：医療用医薬品の包装

### 環境関連法に関するデータ

#### 大気(ボイラー)

| 項目                                    | 基準値  | 測定値         |
|---------------------------------------|------|-------------|
| NOx(m <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N) | 180  | 41-71       |
| SOx(m <sup>3</sup> N/hr)              | 5.1  | 0.012-0.063 |
| ばいじん(g/m <sup>3</sup> N)              | 0.24 | <0.005      |

窒素酸化物は基準酸素で換算した後の値  
測定値は範囲を示す

#### 廃棄物

| 廃棄物の発生量<br>(トン) | 再資源化量<br>(トン) | 再資源化率<br>(%) | 最終処分量<br>(トン) |
|-----------------|---------------|--------------|---------------|
| 80.6            | 60.6          | 75.2         | 3.3           |

### 報告

塩尻工場は、北アルプスを一望できる自然豊かな塩尻市林間工業団地内に位置し、1994年10月に包装を主たる業務とした工場として竣工し、錠剤、散剤、注射剤、点眼剤等の医薬品の保管・検査・包装・市場への出荷を行っています。

当工場では、生産活動によるエネルギーの使用や廃棄物の発生などにより環境への負荷が生じます。われわれが取り組む環境保全活動は、企業が求められる生産性の向上に直結しており、生産歩留まりを向上させ生産ロスを減らすことで追加生産や不良品の処理(廃棄やりサイクル)に係る余計なエネルギー消費を抑制でき、省資源、廃棄物削減につながります。当事業所では、これらの環境負荷低減策を個人レベルで提案できる制度を取り入れ、事業所員の意識を向上させております。

2019年度の環境負荷低減については、効果的な製造日程立案による空調運転時間の最小化、設備の省エネルギー器具化、照明の不要箇所消灯の徹底等により、エネルギー使用量の削減に努めています。また、各製造工程での作業の見直し、トラブルの未然防止により資材歩留まり向上、製品ロス削減を実現したことで廃棄物を



塩尻工場

#### 水質(公共用水域)

| 項目                     | 基準値(条例) | 測定値   |
|------------------------|---------|-------|
| 排出量(m <sup>3</sup> /年) | —       | 4,359 |
| pH                     | 5.8-8.6 | 7.6   |
| BOD(mg/L)              | 20以下    | 0.7   |
| SS(mg/L)               | 30以下    | <1    |

排水：専用の処理施設を経て公共用水域に放流

#### PRTR法対象化学物質

(単位：トン)

| 物質名       | 取扱量 | 大気排出量 | 移動量 |
|-----------|-----|-------|-----|
| メチルナフタレン* | 2.5 | 0.012 | 0   |

年間取扱量が1トン以上の物質を記載

\*ボイラーの燃料の重油に含まれる

削減し、環境負荷低減に寄与しております。

環境保全活動では、毎年、事業所員全員で塩尻工場周辺及び近隣公園のゴミ拾いを行っています。環境保全活動に取り組むことは、地球環境への負荷低減に対する企業の社会的責任として、本年度も積極的に推進いたします。

また、環境に係る法規制の遵守はもとより、ボランティア活動への積極的参加、社会との調和を根底に多方面からの工場見学の受け入れなどにも努めてまいります。



カートニングロボット



## ヘルスケア事業センター

所在地：〒399-0711

長野県塩尻市片丘9637番地6

主たる活動：介護・高齢者向けの食品や腎疾患、生活習慣病など食事療法に役立つ食品の開発・販売



ヘルスケア事業センター

### 環境関連法に関するデータ

#### 廃棄物

| 廃棄物の発生量<br>(トン) | 再資源化量<br>(トン) | 再資源化率<br>(%) | 最終処分量<br>(トン) |
|-----------------|---------------|--------------|---------------|
| 39.8            | 34.4          | 86.4         | 0.7           |

#### 水質

排出量(m³/年) 997m³/年

当センターからの排水は塩尻工場の放流水と合流させて、水質は塩尻工場の放流口で管理しています。

#### 大気

当センターにはボイラー設備はありません。

### 報告

ヘルスケア事業センターは、塩尻工場に隣接しており、2001年5月竣工と同時にヘルスケア事業部の活動拠点として稼動しました。環境面では、塩尻工場と同じく2000年9月ISO14001を認証取得しました。

当事業部では、高齢社会の進展や在宅介護の増加といった時代の流れをとらえ、介護・高齢者向けの食品や腎疾患、生活習慣病などの食事療法に用いる食品を開発・販売しています。当センターは、製品の入出荷・保管管理を担う物流エリア、製品の企画開発、品質管理を担う開発エリア、及び営業拠点としての事務所エリアから構成されています。また、製品は全てOEM※生産であるために製造機能は有していません。

環境面において当センターは、法規制対象となる施設・設備はなく、また現在、危険物・毒劇物の使用



通販カタログ

もありません。著しい環境側面を「賞味期限切迫品の発生」とし、削減活動を展開してきましたが、2015年度後半より、廃棄食品を食品リサイクルとして処理する運用を開始したことにより、2016年度からは著しい環境側面を「産業廃棄物の発生」から「賞味期限切れ製品・サンプルの発生」に変更し運用しております。

今後も省エネルギー、省資源等に重点をおいた目標を設定して活動を展開し、環境に係る法規制の遵守はもとより、環境マネジメントシステムによる環境保全活動を実践して、さらなる継続的改善を図ってまいります。

※OEM：Original Equipment Manufacturer

委託者のブランド製品を生産すること、または、生産するメーカーのこと



ゆめの食卓ごはん付 黒酢の酢豚弁当盛付例

## 中央研究所・製剤研究所

所在地：〒399-8304

長野県安曇野市穂高柏原4365番地1

主たる活動：新薬候補化合物の合成、薬理、製剤化、  
薬物動態に関する研究

### 環境関連法に関するデータ

#### 大気(ボイラー)

| 項目                                    | 基準値      | 測定値          |
|---------------------------------------|----------|--------------|
| NOx(m <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N) | 180      | 41-90        |
| SOx(m <sup>3</sup> N/hr)              | 2.7, 3.7 | <0.012-0.062 |
| ばいじん(g/m <sup>3</sup> N)              | 0.3      | <0.005-0.006 |

窒素酸化物は基準酸素で換算した後の値  
測定値は範囲を示す

#### 廃棄物

| 廃棄物の発生量<br>(トン) | 再資源化量<br>(トン) | 再資源化率<br>(%) | 最終処分量<br>(トン) |
|-----------------|---------------|--------------|---------------|
| 60.2            | 52.7          | 87.5         | 0.4           |

### 報告

中央研究所及び製剤研究所は、豊かな自然に恵まれた安曇野市に位置しています。本事業所では、環境に関する法規制や自主管理基準の遵守、省エネや省資源化、環境負荷の低減等について、環境マネジメントシステムに基づいた環境保全活動を実践しています。設備面におきましては、ターボ冷凍機、空調機制御系インバータ、LED照明等の省エネ効果のある設備の導入、エネルギー消費が可視化できる中央監視システムのBEMS機能の利用等、総合的に地球温暖化対策に取り組んでいます。化学物質の管理においては、化学薬品等の購入から廃棄までの社内での取り扱い全過程を管理できる試薬管理システムの機能強化により、化学物質に関する法規制への対応を更に強化しています。環境影響を管理・評価するための法的又は自主的に実



中央研究所

#### 水質(公共下水道)

| 項目                     | 基準値(条例) | 測定値     |
|------------------------|---------|---------|
| 排出量(m <sup>3</sup> /年) | —       | 12,992  |
| pH                     | 5.0-9.0 | 6.7-7.8 |
| BOD(mg/L)              | 600     | 17-57   |
| SS(mg/L)               | 600     | 5-69    |

排水：公共下水道に放流  
排水量以外の測定値は、範囲を示す

#### PRTR法対象化学物質

(単位：トン)

| 物質名       | 取扱量 | 大気排出量 | 移動量 |
|-----------|-----|-------|-----|
| ノルマル-ヘキサン | 1.5 | 0.0   | 1.5 |
| アセトニトリル   | 1.2 | 0.0   | 1.2 |
| メチルナフタレン* | 8.9 | 0.045 | 0   |

年間取扱量が1トン以上の物質を記載

\*ボイラーの燃料の重油に含まれる

施した環境測定結果については、安曇野市に報告しています。特に安曇野市は環境への関心が高い地域であり、研究所からの排水等については、地域住民の皆様や安曇野市ご担当者の立ち会いのもと、年2回の環境測定を実施しております。

また、近隣の皆様の招いての納涼祭の開催、地元中学生や県内高校生の研究所見学会、研究所周辺の清掃活動等を通じて、地域交流及び社会貢献を行っています。(2020年は、新型コロナウイルス予防のため、いくつかの行事を中止しています。)

医薬品は、薬機法等の厳しい規制を遵守し、高い倫理観を持って研究開発されます。この精神を環境保全活動にも生かし、安曇野の豊かな自然と共存できるよう、これからも努めてまいります。



納涼祭①(2018年度開催の様様)



納涼祭②(2019年度開催の様様)



## 第二研究所

所在地：〒399-8305

長野県安曇野市穂高牧2320番地1

主たる活動：新薬候補化合物の安全性に関する研究

### 環境関連法に関するデータ

#### 大気(ボイラー)

| 項目                                    | 基準値 | 測定値        |
|---------------------------------------|-----|------------|
| NOx(m <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N) | 180 | 37-83      |
| SOx(m <sup>3</sup> N/hr)              | 9.0 | 0.044-0.16 |
| ばいじん(g/m <sup>3</sup> N)              | 0.3 | <0.005     |

窒素酸化物は基準酸素で換算した後の値  
測定値は範囲を示す

#### 廃棄物

| 廃棄物の発生量<br>(トン) | 再資源化量<br>(トン) | 再資源化率<br>(%) | 最終処分量<br>(トン) |
|-----------------|---------------|--------------|---------------|
| 11.0            | 5.5           | 50.0         | 0.3           |

### 報告

第二研究所は2013年に新動物棟が建設されましたが、旧施設と比較すると動物飼育エリアをよりコンパクトに設計し、機能及び実験環境の効率化と維持コストの低減を図ると共に、省エネルギー面でも工夫がされました。2017年度に実施した外部の省エネアドバイザーのアドバイスに基づき、継続的な省エネルギー対策を実施した結果、2019年度は2016年度に比較し電力使用量が11.4%（前年度比7.4%減少）、重油が6.8%減少（前年度比2.2%増加）、二酸化炭素発生量も8.5%減少（前年度比2.6%減少）となりました。

当研究所は医薬品開発における創薬テーマの設定段階から、臨床試験の実施及び承認申請において必要な非臨床安全性試験を主な業務として、厚生労働省の医薬品GMP規制下で試験を実施しています。

また、化学物質を扱うことの多い事業所として、試薬管理システムの導入及び化学物質の適正な保管使用を徹底するため、頻繁に手順書の見直し並びに緊急時に対する教育を実施すると共に、年2回作業環境測定を行い作業者の健康被害の防止に努めております。

国営アルプスあづみの公園に隣接する当研究所は、社会貢献活動の一環で研究所周辺の地域環境整備として、年2回、始業前に全所員によるゴミ拾いの実施による自然環境豊かな安曇野穂高の環境維持に協力して



第二研究所

#### 水質(公共下水道)

| 項目                     | 基準値(条例) | 測定値     |
|------------------------|---------|---------|
| 排出量(m <sup>3</sup> /年) | —       | 3,617   |
| pH                     | 5.0-9.0 | 7.0-7.7 |
| BOD(mg/L)              | 600     | 0.6-68  |
| SS(mg/L)               | 600     | <1-10   |

排水：公共下水道に放流  
排水量以外の測定値は、範囲を示す

#### PRTR法対象化学物質

(単位：トン)

| 物質名       | 取扱量 | 大気排出量 | 移動量 |
|-----------|-----|-------|-----|
| メチルナフタレン* | 7.1 | 0.036 | 0   |

年間取扱量が1トン以上の物質を記載  
※ボイラーの燃料の重油に含まれる

おります。そのほか、ハナモモの植樹による景観整備、国営アルプスあづみの公園で開催される早春賦音楽祭への駐車場貸出等、地域振興への協力を実施しております。

また、安曇野市との「公害防止に関する覚書」に基づいて、外部機関による研究所排水の水質検査及びボイラーばい煙測定を年2回実施し、測定結果は安曇野市及び地域住民へ報告しております。測定当日は地域住民の代表者と安曇野市に立会いをお願いし、地域住民の方々とのコミュニケーションを図るとともに、当社の環境への取り組みについてご理解を頂いております。



「ハナモモ」の植栽事業活動



## 上越化学研究所

所在地：〒942-0145

新潟県上越市頸城区上吉197番地5

主たる活動：新薬候補化合物の工業化に関する研究

### 環境関連法に関するデータ

#### 大気(ボイラー)

| 項目                                    | 基準値  | 測定値     |
|---------------------------------------|------|---------|
| NOx(m <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> N) | 150  | 28-41   |
| SOx(m <sup>3</sup> N/hr)              | 0.44 | <0.0059 |
| ばいじん(g/m <sup>3</sup> N)              | 0.1  | <0.006  |

窒素酸化物は基準酸素で換算した後の値  
測定値は範囲を示す

#### 廃棄物

| 廃棄物の発生量<br>(トン) | 再資源化量<br>(トン) | 再資源化率<br>(%) | 最終処分量<br>(トン) |
|-----------------|---------------|--------------|---------------|
| 15.4            | 14.9          | 96.8         | 0.6           |

### 報告

上越化学研究所は原薬研究に特化した施設であり、安全性及び環境に配慮した工業化プロセスの研究・確立、国の定める「治験薬の製造管理、品質管理等に関する基準(治験薬 GMP)」に基づく臨床試験用原薬の製造・供給、また国内外の患者さんへの高品質な医薬品の安定供給を目指したさらなる合理的な製法の探索研究をするため、新潟県上越市南部産業団地内に2007年4月より稼動いたしました。

上越化学研究所では、ガス燃焼式ボイラーの導入、配管フラッシング水の構内樹木への散水及び空調・衛生設備の工業用水の有効使用による上水使用量の削減、また省エネ対策として人感センサーによる照明器具の制御や構内照明のソーラー式タイマー(地域別日没時間平均)の導入等、環境保全への配慮がされております。

また、2018年11月より公共下水道に接続し、効率的な排水処理を実現するとともに、監視装置等を更新し監視システムをより強固にし、環境安全面への取り組みを強化しております。

省エネ活動としては、クールビズ、ウォームビズの導入、環境保全活動としてアイドリングストップ運動



上越化学研究所

#### 水質(公共下水道)

| 項目                     | 基準値   | 測定値     |
|------------------------|-------|---------|
| 排出量(m <sup>3</sup> /年) | —     | 6,613   |
| pH                     | 5を超える | 7.7-8.2 |
| BOD(mg/L)              | —     | 1.1-68  |
| SS(mg/L)               | —     | 2-30    |

排水：公共下水道に放流  
排水量以外の測定値は、範囲を示す

及びシュレッダーごみのリサイクルを推進、社会貢献活動として5月と11月に上越化学研究所全所員による地域環境整備活動を実施しております。

また、定期的な排水水質検査、大気環境測定、臭気測定及び必要に応じて騒音測定等の実施により、周辺環境に及ぼす影響評価を行っております。

さらに、研究所内環境部会を中心に環境マネジメントシステムに基づく活動を実施しております。



工業化プロセス研究

## 東京本社、支店・営業所

### 所在地：

東京本社：〒103-0022

東京都中央区日本橋室町  
1丁目8番9号

東京本社：〒112-0002

(小石川) 東京都文京区小石川3丁目1番3号

### 主たる活動：

東京本社：東京における主要な経営プロセス  
機能の活動拠点

支店・営業所：医療用医薬品の医薬情報活動の拠点

### 環境関連法に関するデータ

#### 廃棄物

| 事業所           | 廃棄物の発生量<br>(トン) | 再資源化量<br>(トン) | 再資源化率<br>(%) | 最終処分量<br>(トン) |
|---------------|-----------------|---------------|--------------|---------------|
| 東京本社          | 17.1            | 7.3           | 42.7         | 1.0           |
| 東京本社<br>(小石川) | 27.2            | 19.1          | 70.2         | 1.6           |
| 営業所           | 10.2            | 10.2          | 100          | 0             |

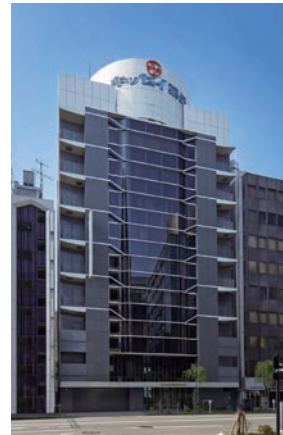
### 報告

#### ・日本橋

当施設は事務棟であり、危険物や劇毒物などの環境負荷が大きい物は取り扱っておりません。また、生産部門がないため環境に直接的に与える影響は小さいといえます。しかしながら、企業市民として環境保全に積極的に関わる必要があるとの認識から、自主的に環境に対する管理基準を設け、環境マネジメントシステムを運用しながら、環境保全活動を実施しています。

環境マネジメントシステムでは年度ごとに新しい目標を設定しております。2019年度は省エネルギー、省資源、廃棄物の削減に重点を置く目標を定め、その目標達成に向け具体的な実施計画を展開しながら活動しました。

社会貢献活動としましては、毎年実施されております「日本橋を洗う会」や「中央区クリーンデー」などの地域の環境活動イベントにも積極的に参加し、地域住民や近隣企業社員と一緒に取り組むことで、地域との関わりを深めることができました。また、11月には日本橋本社周辺の地域清掃を事業所社員全員で実施いたしました。



東京本社



東京本社(小石川)

#### ・小石川

東京本社(小石川)ビルの環境保全として、環境マネジメントシステムでは“紙の使用”を著しい環境側面とし、オフィス用紙の使用量削減に取り組みました。

省エネ活動では、室内温度を夏季はクールビズ導入により28℃、冬季はウォームビズ導入により20℃を目安に取り組むと共に、不要箇所の消灯、不要機器の電源オフ等を徹底しました。

廃棄物発生量の削減では、分別用のごみ箱を各フロア1箇所に集約するなど、ごみ分別の再徹底を図りました。

また、設備面におきまして、LED・人感センサー照明等の省エネ効果のある設備の導入、空調機的主要部品の交換による冷暖房効率の向上など、地球温暖化対策に取り組んでおります。

社会貢献活動として、事業所全員による地域清掃を11月に実施すると共に、安全衛生部会員による地域清掃を5月と2月に実施しました。

今後も環境マネジメントシステムを主軸に据えた活動を展開することで、環境保全に貢献してまいります。

## [グループ会社の環境保全活動]

### キッセイ商事株式会社

所在地:

本社: 〒399-0014  
長野県松本市平田東2丁目1番1号  
澤志庵製麺所: 〒399-0702  
長野県塩尻市広丘野村1914番地

主たる活動: 麺類の製造販売、包装資材の販売、  
各種設備機器、研究用・工業用機器の  
販売、車両及び燃料の販売、食品類の  
販売、傷害保険・生命保険代理業



キッセイ商事株式会社 澤志庵製麺所

#### 環境関連法に関するデータ

|           | 本 社       | 澤志庵製麺所            |
|-----------|-----------|-------------------|
| 電力使用量     | 23,124kWh | 533,280kWh        |
| LPG       | —         | 605m <sup>3</sup> |
| 灯 油       | —         | 6kL               |
| ガソリン(営業車) | 24kL      |                   |

#### 報 告

当社はキッセイグループ企業の一員として、環境保全及び社会貢献活動を行っております。

環境保全活動として、不在箇所の消灯・昼休みの消灯の実施等、各社員に省エネ意識が定着しており、日々電力消費量の削減に努めております。

澤志庵製麺所におきましては、デマンドコントロールシステムを導入し、日々の消費電力量を監視しております。また、資源活用事業(信州eループ事業共同組合)へ参加して7年目となり、食物残渣(生麺屑)の有効活用として、従来たい肥化処理していたものを一部家畜飼料化に変更し、食物資源の有効利用、食品廃棄物の発生抑制に引き続き努めております。

省資源対策としてはコピー用紙の両面印刷・裏紙の利用・電子申請・承認システムの推進により省資源に努めており、クールビズ(5月～10月)ウォームビズ(11月～3月)を継続的に実施しております。

社会貢献活動としては、本社においては年2回、会社周辺の清掃活動を実施しており、澤志庵製麺所では、角前工業団地の一斉清掃活動に年2回参加をしております。

これからも永続的かつ健全に発展していくために、社会に貢献できる企業として、CSR経営を推し進めてまいります。

#### 廃棄物

| 廃棄物の発生量(トン) | 再資源化量(トン) | 再資源化率(%) |
|-------------|-----------|----------|
| 52.2        | 49.1      | 94.1     |

発生量、再資源化量は植物残渣を含みます。

#### 地域環境整備 (2019年度)

| 実施月 | 活動の内容                        |
|-----|------------------------------|
| 4月  | 塩尻市角前工業団地一斉清掃<br>澤志庵製麺所周辺の清掃 |
| 5月  | ごみゼロ運動<br>本社周辺の清掃            |
| 9月  | 塩尻市角前工業団地一斉清掃<br>澤志庵製麺所周辺の清掃 |
| 10月 | 秋の一斉清掃<br>本社周辺の清掃            |



澤志庵 信州そば「澤の匠」

#### 省資源対策

- ・使用済封筒の再利用
- ・両面印刷、裏紙の活用
- ・電子申請、承認システムの推進
- ・食物残渣の家畜飼料化、たい肥化
- ・低燃費営業車両の導入



## キッセイコムテック株式会社

所在地：〒390-1293

長野県松本市和田4010番10

主たる活動：ソフトウェア開発、情報処理サービス

### 環境関連法に関するデータ

|           |              |
|-----------|--------------|
| 電力使用量     | 2,395,060kWh |
| A重油       | 66kL         |
| LPG       | 2,168㎡       |
| ガソリン(営業車) | 24kL         |

### 報告

当社は、システムインテグレーションサービス、システムリソースサービス、メディカルシステム開発・販売を事業内容とする総合情報サービス業であり、有害物質などを排出しない、比較的環境負荷の低い企業です。2002年6月にISO14001認証を取得し、省資源、省エネルギー活動、廃棄物排出量の削減、紙使用量の削減等の活動に取り組んでまいりました。また、地域への貢献として、清掃活動等、社内・外への環境活動を積極的に推進しています。

当社の環境活動は社内、当社周辺地域、そしてお客様へと、より多くの領域に拡大しています。

2019年7月24日にSDGs達成に向けた宣言を行い、環境分野において省エネ・省資源の推進に重点的に取り組んでまいります。

今後も21世紀に存続する企業の社会的責任において、積極的に地球の環境保全活動に取り組むという方針の下、企業活動に邁進してまいります。

### 【環境保全活動】

#### エネルギー使用量、二酸化炭素排出量の削減

- ・ノー残業デーの一斉実施
- ・クールビズの導入(5月～10月)
- ・ウォームビズの導入(11月～3月)
- ・不要時の照明の消灯
- ・OA機器の省電力設定
- ・営業車エコドライブの励行
- ・節水励行
- ・ハイブリッド車両(PHV含む)の追加導入(入替え)



キッセイコムテック株式会社

### 廃棄物

| 廃棄物の発生量(トン) | 再資源化量(トン) | 再資源化率(%) |
|-------------|-----------|----------|
| 31.3        | 14.5      | 46.3     |

### 省資源対策

#### OA用紙の削減

- ・電子申請、承認システムの活用
- ・両面印刷、縮小印刷の推進
- ・裏紙活用
- ・電子文書の活用

段ボール、OA用紙のリサイクル推進

分別回収の徹底(リサイクル推進)

### 地域清掃活動の実施 (2019年度)

| 実施月 | 活動の内容                |
|-----|----------------------|
| 5月  | 本社周辺清掃               |
| 7月  | 本社周辺清掃               |
| 9月  | 本社周辺清掃               |
| 10月 | 信州スカイパーク、やまびこドーム周辺清掃 |
| 12月 | 本社周辺清掃               |

## ハシバテクノス株式会社

所在地：〒399-0014

長野県松本市平田東2丁目1番1号

主たる活動：総合建設業

工場・ビル管理事業

### 報告

当社は、社会基盤の提供を通じて社会へ貢献をするために、高い技術と地域密着型のきめ細かなサービスで建物の建築から設備施設の維持・管理まで行う総合建設サービス企業です。

ISO14001環境マネジメント認証を2002年2月に初めて取得し、2018年2月にISO14001:2015認証を取得しました。環境問題の重要性を認識し、すべての企業活動を通して環境保全活動に積極的に取り組んでいます。今後も利害関係者の幅広いご要望にお応えしながら、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

これまで環境に配慮した取り組みをしてきた結果、松本市より2018年7月に「ecoオフィスまつもと」の最上位(三つ星)の事業所に認定され、2020年4月に「長野県SDGs推進企業」に登録されました。

当社は引き続き、環境に配慮した安心・安全な社会の実現のための取り組みを行い、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

### 【環境保全活動】

#### 省エネルギー、二酸化炭素排出量の削減

- ・電力使用量(前年度比-4.1%)
- ・昼休みの消灯、不要箇所のこまめな消灯
- ・「クールビズ」(5月～10月)
- ・「ウォームビズ」(11月～3月)
- ・低燃費車両の導入
- ・エコドライブの励行

#### 省資源対策

- ・コピー用紙の削減
- ・両面コピー、裏紙の利用、配付部数の削減、メールの活用
- ・事務用品のグリーン購入推進
- ・段ボールのリサイクル推進

#### 廃棄物の削減

- ・事業所及び建設廃棄物の削減

#### 社会貢献活動

- ・地域環境整備活動の実施



ハシバテクノス株式会社

### 環境関連法に関するデータ(施設管理部を除く)

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 電力使用量     | 38,212 kWh           |
| LPG       | 2,430 m <sup>3</sup> |
| 灯油        | 35 kL                |
| ガソリン(営業車) | 67 kL                |

### 廃棄物(施設管理部を除く)

| 廃棄物の発生量(トン) | 再資源化量(トン) | 再資源化率(%) |
|-------------|-----------|----------|
| 3,718       | 3,332     | 89.6     |

### 地域環境整備 (2019年度)

| 実施月         | 活動の内容                         |
|-------------|-------------------------------|
| 毎月<br>第3金曜日 | 各事業所、工事現場周辺及び国道19号線沿いの一斉清掃を実施 |
| 12月         | 「穴田川をきれいにする会」清掃活動             |



ISO14001:2015登録証



長野県SDGs登録証

## 報 告(施設管理本部)

キッセイ薬品及びグループ会社のライフラインを中心とした諸施設・設備などの保全管理、保守工事を推進しています。その結果、各グループ会社の事業活動に支障を来すことなくライフラインの確保とともに、安全・安定したサービスを提供してきました。2019年度はキッセイ薬品の本社・松本工場及び中央研究所の第二種エネルギー管理指定工場としての改正省エネ法への対応を積極的に展開し、BEMSによるエネルギー使用量の管理など指定工場としての目標達成のために活動しました。

その他、キッセイ薬品及びグループ会社各事業所の環境整備として構内及び所有地の植栽管理や、常駐警備、清掃・洗濯、社内印刷、廃棄物管理、各種修理加工等幅広く行いました。



貫流ガスボイラー



2020年度導入チラー

---

## 編集後記

「CSR報告書2020」をお読みいただきましてありがとうございました。

このCSR報告書は、ステークホルダーの皆様当社における1年間のCSR経営の取り組みをご理解いただくため、2002年から毎年作成し今回で19回目となりました。

本報告書は昨年度の取り組みを中心に、一部最新年度の取り組みも掲載しております。今回は新型コロナウイルス感染症の影響でいくつかのイベントの開催が中止となり、最新の取り組みが掲載出来ない箇所もございますことご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の少しでも早い収束を願いつつ、また収束後はどのように社会環境が変化していくかわかりませんが、当社の環境・社会に対する活動や意識に変化はございません。次回作成の報告書でその活動をご確認いただければ幸いです。

今後も内容の充実を図りながら関連活動をお伝えします。作成に当たっての皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。





本報告書の内容に関するご意見・お問い合わせ先

**キッセイ薬品工業株式会社 総務部CSR推進室**

〒399-8710 松本市芳野19番48号  
TEL.0263-25-9081(代表) FAX.0263-25-9040

発行：2020年9月